

年 報  
(平成 27 年度実績)

静岡県工業技術研究所

平成 28 年 12 月

# 目 次

1	概 況	
(1)	工業技術研究所の沿革	1
(2)	工業技術研究所全体の事業概要	2
(3)	工業技術研究所及び各工業技術支援センターの施設の概要	4
(4)	工業技術研究所及び各工業技術支援センターの組織図	5
(5)	工業技術研究所及び各工業技術支援センターの職員	8
(6)	工業技術研究所及び各工業技術支援センターの決算	12
(7)	工業技術研究所及び各工業技術支援センターの主要購入機器設備	16
2	事業の実績	
(1)	試験研究、調査及び指導事務	17
ア	研究開発	17
(ア)	研究課題	17
(イ)	外部研究員招へい事業	24
(ウ)	特許等の登録及び出願	26
イ	技術相談等	27
(ア)	技術相談	27
(イ)	依頼試験	28
(ウ)	機器使用等	33
(エ)	研究会の育成	34
(オ)	研修生の受入れ	35
ウ	技術情報提供	38
(ア)	研究報告関係	38
(イ)	研究発表会関係	38
(ウ)	研究所情報等の提供	42
(エ)	研究所の事業広報等	42
(オ)	講習会等	43
(カ)	講師活動	49
(キ)	委員派遣	54
(ク)	産業技術連携推進会議等への派遣	66
(ケ)	学会等への発表、外部発行誌等への投稿及び展示会への出展	71
(2)	平成 27 年度研究成果一覧	81
ア	工業技術研究所	81
イ	沼津工業技術支援センター	88
ウ	富士工業技術支援センター	90
エ	浜松工業技術支援センター	92

# 1 概 況

## (1) 工業技術研究所の沿革

明治 39 年	3 月	「静岡県工業試験場紙業部、漆器部、庶務部」を静岡市追手町に、「染織部」を浜名郡天神町村馬込（現浜松市）に設置し、同年 11 月に開場
大正 2 年	12 月	「静岡県工業試験場」を静岡市水落町に移転
大正 4 年	9 月	「染織部」を「静岡県工業試験場浜松分場」に改称
大正 8 年		「浜松分場」を浜松市北寺島町に移転
大正 8 年	12 月	「静岡県工業試験場」を安倍郡豊田村南安東（後瓦場町、現静岡市葵区太田町）に移転
大正 9 年	2 月	「静岡県工業試験場」を「静岡県静岡工業試験場」に、「浜松分場」を「静岡県浜松工業試験場」に改称
昭和 12 年	11 月	「製紙部」を富士郡今泉村（現富士市今泉）に移転、「静岡県製紙工業試験場」を開設
昭和 27 年	4 月	「静岡県浜松工業試験場」を「静岡県浜松繊維工業試験場」に、「静岡県製紙工業試験場」を「静岡県紙業指導所」に改称
昭和 28 年	1 月	「静岡県静岡工業試験場」を静岡市安倍川町（現葵区駒形通 5 丁目）に移転
昭和 32 年	4 月	「静岡県紙業指導所」を「静岡県製紙工業試験場」に改称
昭和 36 年	4 月	「静岡県静岡工業試験場」を「静岡県工業試験場」に改称
昭和 36 年	6 月	「静岡県工業試験場浜松分場」を浜松市小池町に設置
昭和 38 年	1 月	「静岡県工業試験場浜松分場」を「静岡県機械技術指導所」と改称
昭和 38 年	12 月	「静岡県製紙工業試験場」を吉原市伝法（現富士市伝法）に移転
昭和 42 年	6 月	「静岡県浜松繊維工業試験場福田技術指導所」を磐田郡福田町に開所
昭和 57 年	11 月	「静岡県工業試験場」を現在地（静岡市葵区牧ヶ谷）に移転
昭和 59 年	4 月	「静岡県工業試験場」を「静岡県工業技術センター」に改称
平成 2 年	4 月	「静岡県工業技術センター」を「静岡県静岡工業技術センター」に改称 「沼津工業技術センター」を現在地（沼津市大岡）に開設
平成 3 年	4 月	「静岡県製紙工業試験場」を現在地（富士市大淵）に移転し、機械・電子部門を加え、「静岡県富士工業技術センター」に改称 「静岡県浜松繊維工業試験場」と「静岡県機械技術指導所」を統合し、光・電子部門を加え、「静岡県浜松工業技術センター」として現在地（浜松市北区新都田 1 丁目）に移転、開設
平成 19 年	4 月	「沼津・富士・静岡・浜松工業技術センター」を統合し、「静岡県工業技術研究所」とし、「沼津・富士・浜松工業技術センター」を「工業技術支援センター」と名称変更

## (2) 工業技術研究所全体の事業概要

地域産業に最も近い技術支援機関として、研究開発、依頼試験・設備使用、技術相談・人材育成、技術情報の提供、産学官連携の促進や周辺地域の公設試験研究機関との連携強化等を通じて、ものづくりを行う県内中小企業の技術開発や課題解決を支援している。

特に、県の産業振興施策である静岡新産業集積クラスター推進事業を始めとする地域の特化技術(バイオテクノロジー、製紙、食品、環境エネルギー、生活製品、光)、地域産業の基礎となる共通基盤技術(材料、機械、電子)及び中小企業全体の支援に横断的に関わるものづくり支援の各分野において、地域産業の振興、新たな産業の創出などの基礎となる技術力の向上を支援している。

また、県内産業界を一体的に技術支援できる組織体制とするため、平成19年度には沼津・富士・静岡・浜松工業技術センターを統合し、工業技術研究所(静岡市)とし、その下に沼津・富士・浜松工業技術支援センターを配置した。

平成24年9月には工業技術研究所全体で、文部科学省から科研費応募資格を有する研究機関としての指定を受け、企業支援のための技術力向上に努めている。

さらに企業支援を強化するため、これまでの窓口相談を拡充し、研究所及び各工業技術支援センターに平成26年3月から海外展開支援を含めた「ものづくり産業支援窓口」を開設したほか、商工会議所・商工会等との連携により、研究員が直接企業に出向く出張相談の強化や遠隔地での相談に対応する臨時窓口を設置するようにした。

これらにより、企業が取り組む研究開発、製品設計・生産、品質管理における技術課題の解決のための支援が強化された。

### 主要事業

#### ア 研究開発

経常研究、共同研究、受託研究、新成長戦略研究を行い、地域産業の技術基盤の強化や先端技術の開発による産業支援を行う。

#### イ 技術相談・人材育成

中小企業の技術相談や各種研修会・講習会を開催し、地域産業の技術力向上に努める。

#### ウ 依頼試験・設備使用

地域企業の新製品開発や性能評価のため、依頼試験や試験機器・施設等を開放し、技術支援を行う。

#### エ 技術情報の提供

インターネットや研究所・センターニュース等の刊行物を利用し、地域の中小企業を中心に、製造技術や製品開発に必要な技術情報を提供する。

#### オ 産学官連携の促進

地域企業、大学、支援機関との連携を強化し、技術情報の共有化や研究開発、産業振興を図る。さらに、静岡県工業技術研究所産学官連携推進コーディネータを配置し、「産学官技術交流促進事業」等を実施する。

他県の公設試験研究機関との連携を密にするため、関東経済産業局管内の首都圏公設試験研究機関連携体(首都圏テクノナレッジ・フリーウェイ(TKF))や、中部経済産業局管内の中部イノベネットに参画し、情報交換や広域連携による域内企業の支援強化を進めている。

また、関東甲信越地域の公設試が連携して中小企業の海外展開を支援する組織（広域首都圏輸出製品技術支援センター（MTEP））に参加し、域内企業の海外進出を技術面から支援している。

カ 静岡新産業集積クラスターの形成事業の推進

東部のファルマバレー、中部のフーズ・サイエンスヒルズ、西部のフォトンバレーの県内3クラスターの着実な推進とともに、各クラスター間の連携により、新たな技術・製品の開発を促進し、相乗効果を図る。

### (3) 工業技術研究所及び各工業技術支援センターの施設の概要

#### ア 工業技術研究所(静岡市)

(ア)敷地面積	23,157 m <sup>2</sup>	
(イ)建築面積	7,659 m <sup>2</sup>	
(ウ)延床面積	13,091 m <sup>2</sup>	
管理棟	鉄筋コンクリート4階建	2,250 m <sup>2</sup> (管理部門)
研究棟	鉄筋コンクリート4階建	4,130 m <sup>2</sup> (研究部門)
研修棟	鉄筋コンクリート平屋建	270 m <sup>2</sup> (講習・研修施設)
実験棟	鉄骨平屋建	2,719 m <sup>2</sup> (実験施設)
開放棟	鉄筋コンクリート3階建	1,680 m <sup>2</sup> (開放試験・共同研究施設等)
資料館	鉄筋コンクリート2階建	460 m <sup>2</sup>
附属棟		1,582 m <sup>2</sup> (設備棟・薬品庫等)

#### イ 沼津工業技術支援センター(沼津市)

(ア)敷地面積	19,958 m <sup>2</sup>	
(イ)建築面積	3,892 m <sup>2</sup>	
(ウ)延床面積	6,219 m <sup>2</sup>	
管理・研究・開放棟	鉄筋コンクリート3階建	4,384 m <sup>2</sup> (管理・研究部門、開放試験)
実験棟	鉄筋コンクリート平屋建	648 m <sup>2</sup> (実験施設)
附属棟		305 m <sup>2</sup> (廃水処理施設等)
インキュベーションセンター	鉄骨平屋建	882 m <sup>2</sup>

#### ウ 富士工業技術支援センター(富士市)

(ア)敷地面積	20,075 m <sup>2</sup>	
(イ)建築面積	4,433 m <sup>2</sup>	
(ウ)延床面積	8,801 m <sup>2</sup>	
管理・研究・開放棟	鉄筋コンクリート3階建	5,346 m <sup>2</sup> (管理・研究部門、開放試験)
実験棟	鉄筋コンクリート3階建	2,414 m <sup>2</sup> (実験施設)
附属施設		165 m <sup>2</sup> (車庫・駐輪場等)
インキュベーションセンター	鉄骨平屋建	876 m <sup>2</sup>

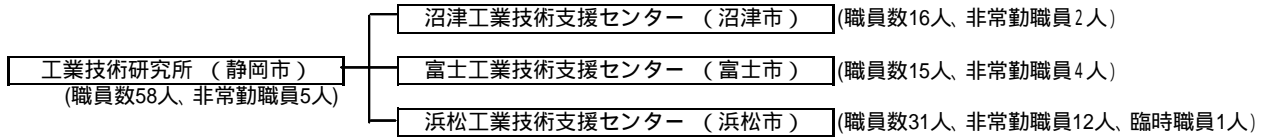
#### エ 浜松工業技術支援センター(浜松市)

(ア)敷地面積	28,238 m <sup>2</sup>	
(イ)建築面積	5,249 m <sup>2</sup>	
(ウ)延床面積	10,611 m <sup>2</sup>	
管理研究棟	鉄筋コンクリート4階建	5,023 m <sup>2</sup> (管理・研究部門)
開放棟	鉄筋コンクリート2階建	1,276 m <sup>2</sup> (開放試験・共同研究・講習研修施設)
実験棟	鉄筋コンクリート2階建	3,309 m <sup>2</sup> (研究部門)
附属棟		128 m <sup>2</sup> (排水処理施設・薬品庫等)
○インキュベーションセンター	鉄骨平屋建	875 m <sup>2</sup>

(5) 組織図

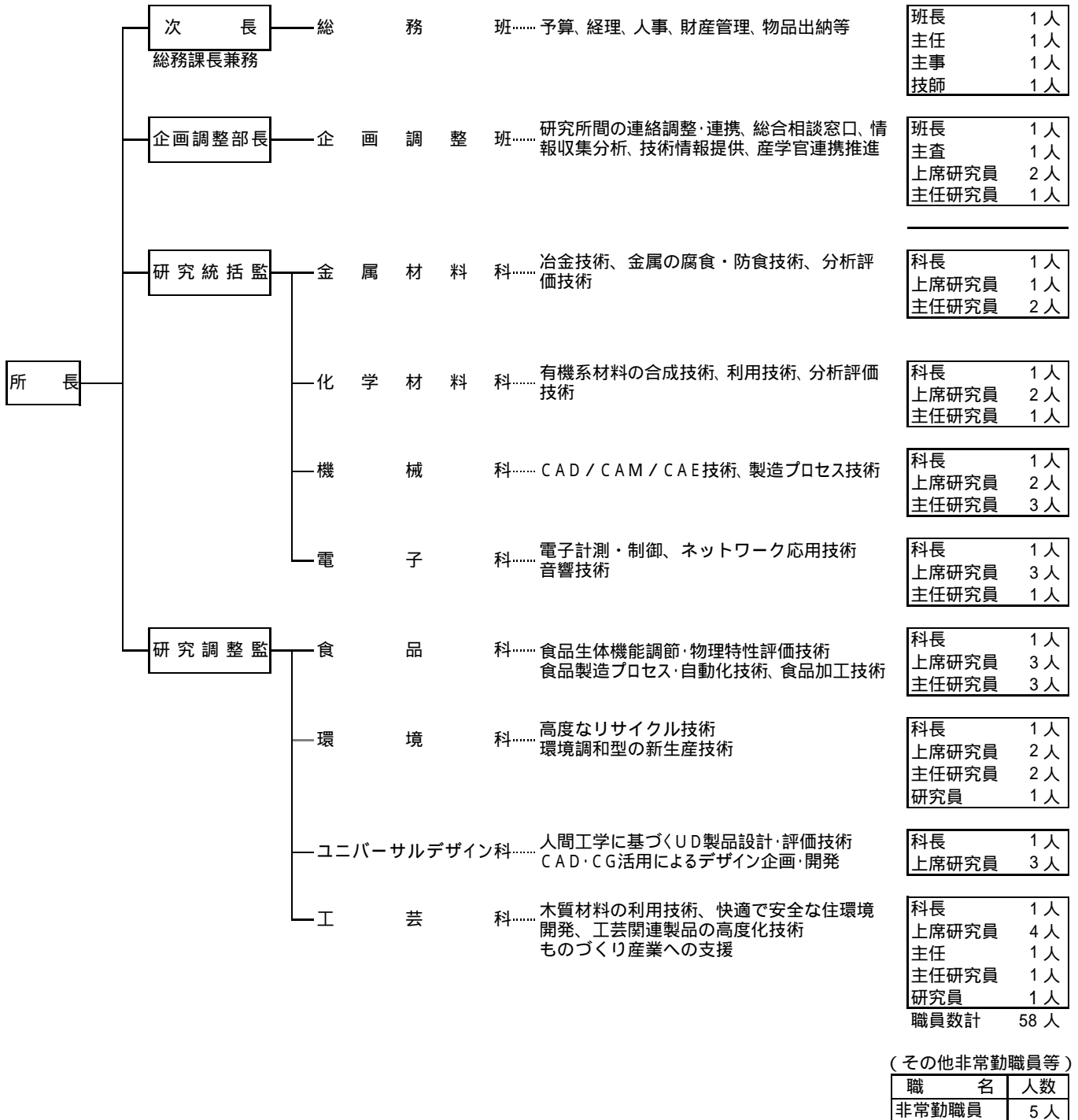
平成27年4月1日現在の工業技術研究所の組織及び業務分担は、次のとおりである。

職員総数は事務職員11人、技術職員105人、再任用職員4人（事務職1人、技術職3人）、非常勤職員23人及び臨時職員1人の計144人である。



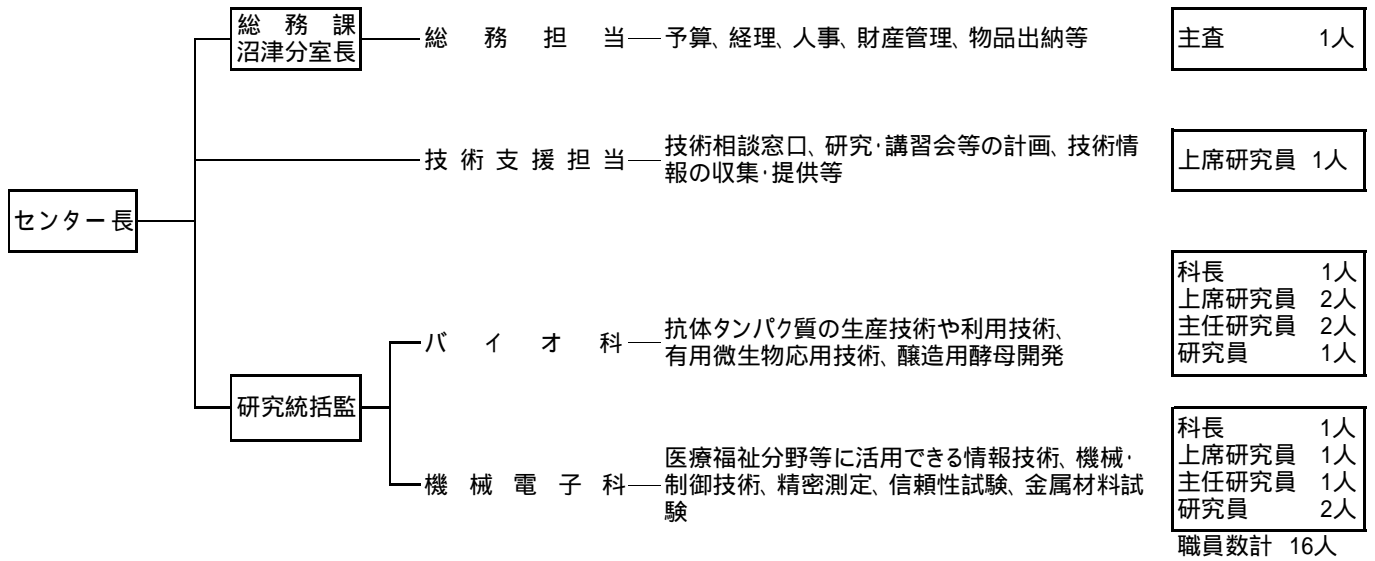
ア 工業技術研究所（静岡市）

職員数は事務職員4人、技術職員52人、再任用職員2人、非常勤職員5人の計63人である。



## イ 沼津工業技術支援センター(沼津市)

職員数は事務職員 2 人、技術職員14人及び非常勤職員 2 人の計18人である。

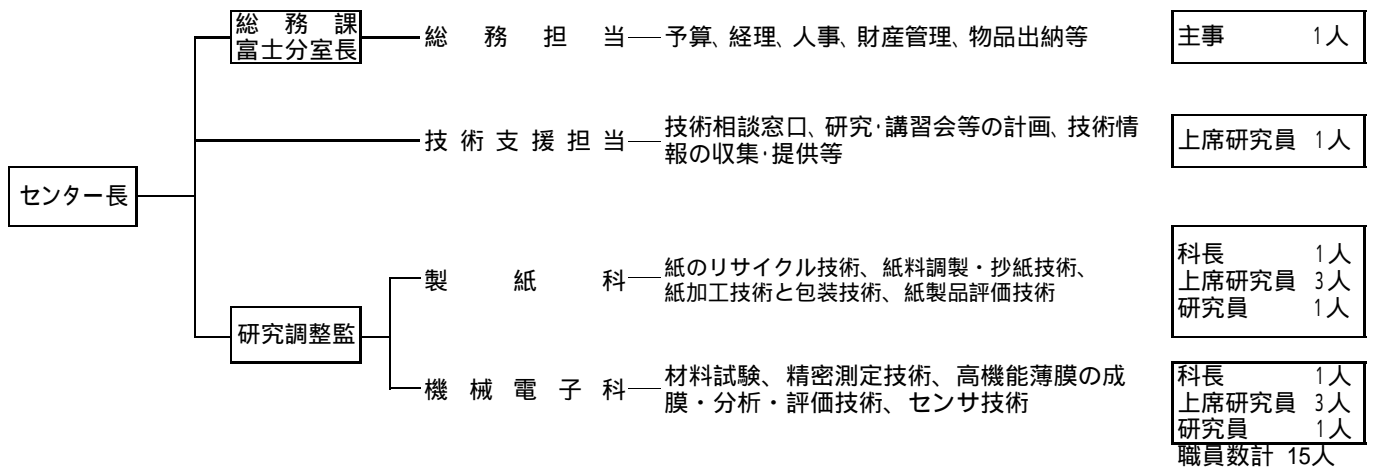


(その他非常勤職員等)

職名	人数
非常勤職員	2

## ウ 富士工業技術支援センター(富士市)

職員数は事務職員 2 人、技術職員13人及び非常勤職員 4 人の計19人である。



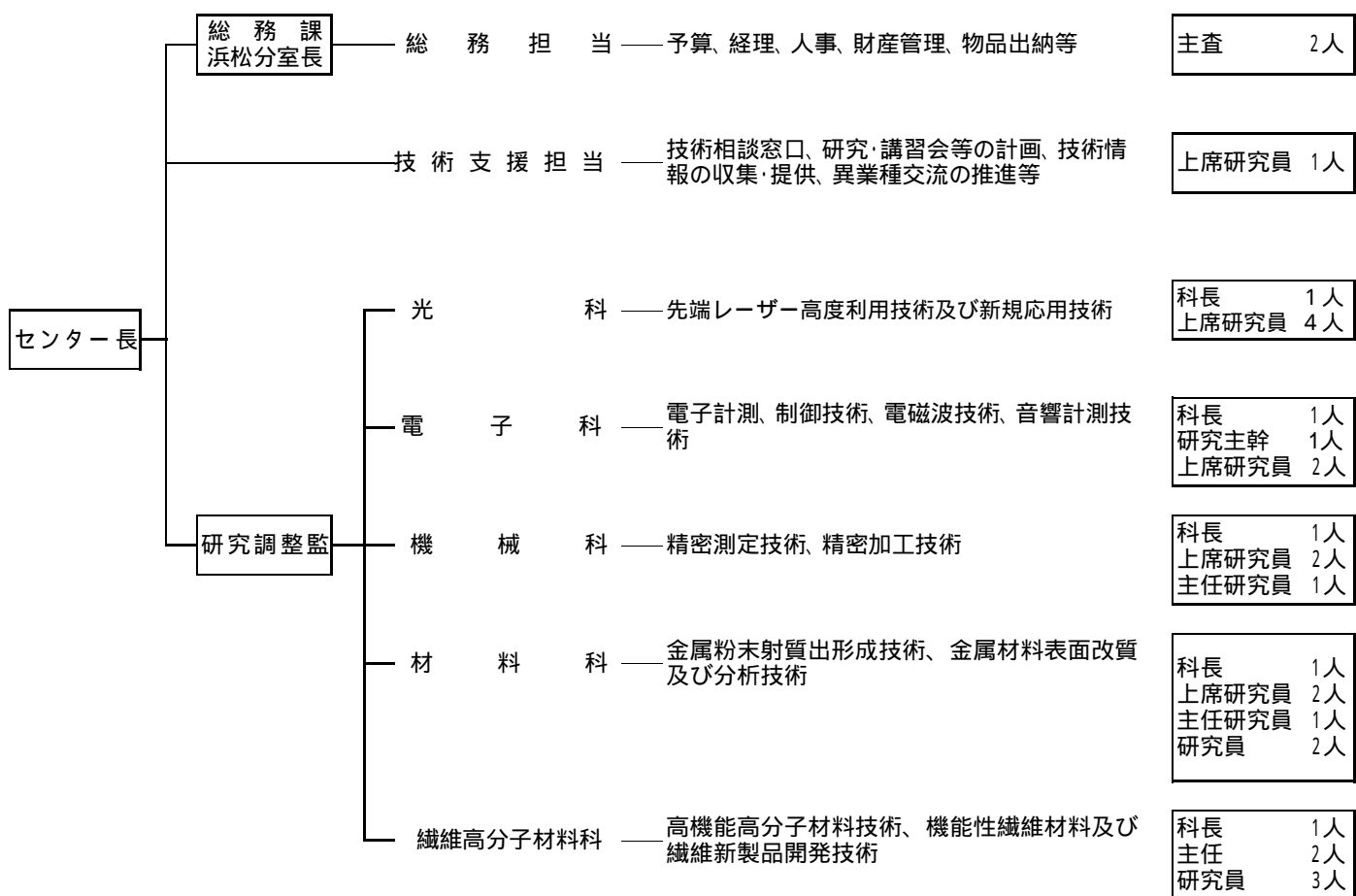
(その他非常勤職員等)

職名	人数
非常勤職員	4



## エ 浜松工業技術支援センター（浜松市）

職員数は事務職員 3 人、技術職員 26 人、再任用職員 2 人、非常勤職員 12 人、臨時職員 1 人の計 44 人である。



職員数計 31 人

（その他非常勤職員等）

職名	人数
非常勤職員	12
臨時職員	1

(5) 工業技術研究所及び各工業技術支援センターの職員

ア 工業技術研究所

部課科スタッフ	事務職員	技術職員	非常勤職員 臨時職員	部課科スタッフ	事務職員	技術職員	非常勤職員 臨時職員
所長		1		機械		6	
次長兼総務課長	1			電子		5	
部長		1		食品		7	
研究統括監・研究調整監		2		環境		6	
総務課	3	1		ユニバーサルデザイン		4	
企画調整部	1	4	3	工芸		8	1
金属材料		4	1	計	5	53	5
化学材料		4					

職員名簿

組織	職名	氏名	組織	職名	氏名	
所長		田中 進	研究調整監		佐野 禎彦	
総務課	次長兼課長	岩崎 治	食品科	科長	杉山 直人	
	班長(事)	勝又 幸彦		上席研究員	渡瀬 隆也	
	主任(事)	橋本 秀隆		上席研究員	上野 千恵	
	主事(事)	高泉 優香		上席研究員	浅沼 俊倫	
	技師	一瀬 将平		主任研究員	松野 正幸	
企画調整部	部長	望月 一男		主任研究員	池ヶ谷 篤	
	班長	大川 勝正		主任研究員	袴田 雅俊	
	主査(事)	桑田 昇一		環境科	科長	大竹 正寿
	上席研究員	矢嶋 雅			上席研究員	太田良 和弘
	上席研究員	及川 貴康			上席研究員	岡本 哲志
	主任研究員	志田 英士	主任研究員		室伏 敬太	
非常勤職員	3名	主任研究員	結城 茜			
		研究員	中島 大介			
研究統括監		佐藤 廣美	ユニバーサル デザイン科	科長	多々良 哲也	
金属材料科	科長	萱沼 広行		上席研究員	小松 剛	
	上席研究員	増井 裕久		上席研究員	易 強	
	主任研究員	綿野 哲寛		上席研究員	村松 重緒	
	主任研究員	鈴木 洋光	工芸科	科長	櫻川 智史	
	非常勤職員	1名		上席研究員	赤堀 篤	
化学材料科	科長	渥美 博安		上席研究員	山下 里恵	
	上席研究員	田村 克浩		上席研究員	藤浪 健二郎	
	上席研究員	菅野 尚子		上席研究員	渡邊 雅之	
	主任研究員	田中 翔悟		主任(技)	内山 辰彦	
機械科	科長	鈴木 敬明	主任研究員	菊池 圭祐		
	上席研究員	真野 毅	研究員	前田 研司		
	上席研究員	船井 孝	非常勤職員	1名		
	主任研究員	志智 亘	(事)は事務職員、(技)及びその他は技術職員(非常勤職員を除く)			
	主任研究員	豊田 敏裕				
主任研究員	柳原 亘					
電子科	科長	長谷川 和宏				
	上席研究員	油上 保				
	上席研究員	木野 直樹				
	上席研究員	望月 紀寿				
	主任研究員	竹居 翼				

イ 沼津工業技術支援センター

課科スタッフ	事務職員	技術職員	非常勤職員
センター長		1	
研究統括監		1	
分室長	1		
総務担当	1		1
技術支援担当		1	
バイオ		6	
機械電子		5	1
計	2	14	2

職員名簿

組 織	職名	氏 名	組 織	職名	氏 名
センター長		神谷 義之	バイオ科	主任研究員	天野 祥吾
研究統括監		八木 淳一		研究員	高木 啓詞
総務課分室長(事)		秋定 一知	機械電子科	科 長	鬼久保 有隆
総務担当	主 査(事)	市川 和美		上席研究員	本多 正計
	非常勤職員	1名		主任研究員	橘川 義明
技術支援担当	上席研究員	望月 建治		研究員	細野 美奈子
バイオ科	科 長	太田 俊也		研究員	小泉 雄輔
	上席研究員	岩原 健二		非常勤職員	1名
	上席研究員	飯塚 千佳世			
	主任研究員	勝山 聡	(事)は事務職員、その他は技術職員(非常勤職員を除く)		

ウ 富士工業技術支援センター

課科スタッフ	事務職員	技術職員	非常勤職員
センター長		1	
研究調整監		1	
分室長	1		
総務担当	1		1
技術支援担当		1	
製紙		5	3
機械電子		5	
計	2	13	4

職員名簿

組 織	職名	氏 名	組 織	職名	氏 名
センター長		神谷 真好	製紙科	上席研究員	齊藤 将人
研究調整監		三浦 清		研究員	山口 智久
総務課分室長(事)		小池 満弘		非常勤職員	3名
総務担当	主 事(事)	森上 明彦	機械電子科	科 長	長谷川 茂
	非常勤職員	1名		上席研究員	高木 誠
技術支援担当	上席研究員	杉本 芳邦		上席研究員	中山 洋
製紙科	科 長	木野 浩成		上席研究員	岡田 慶雄
	上席研究員	深沢 博之		研究員	白井 圭
	上席研究員	齊藤 和明			
(事)は事務職員、その他は技術職員(非常勤・臨時職員を除く)					

エ 浜松工業技術支援センター

課科	事務職員	技術職員	非常勤職員・臨時職員
センター長		1	
研究統括監		1	
分室長	1		
総務担当	2		1
技術支援担当		1	2
光		5	2
電子		4	1
機械		4	
材料		6	4
繊維高分子材料		6	3
合計	3	28	13

職員名簿

組 織	職名	氏 名	組 織	職名	氏 名
センター長		杉山 治	機械科	科 長	長澤 正
研究統括監		田中 孝彦		上席研究員	針幸 達也
総務課分室長(事)		両角 剛志		上席研究員	岩澤 秀
総務担当	主 査(事)	岩田 安弘		主任研究員	大澤 洋文
	主 査(事)	鈴木 裕子	材料科	科 長	伊藤 芳典
	非常勤職員	1名		上席研究員	長津 義之
技術支援担当	上席研究員	吉岡 正行		上席研究員	田光 伸也
	非常勤職員	2名		主任研究員	植松 俊明
光科	科 長	植田 浩安		研究員	田中 宏樹
	上席研究員	鷺坂 芳弘		研究員	是永 宗祐
	上席研究員	山下 清光		非常勤職員	4名
	上席研究員	上野 貴康	繊維高分子材料科	科 長	鈴木 一之
	上席研究員	中野 雅晴		主 任(技)	田端 孝光
	非常勤職員	1名		主 任(技)	石原 彰浩
臨時職員	1名	研究員		鈴木 悠介	
電子科	科 長	松田 稔		研究員	森田 達弥
	研究主幹	杉森 正康		研究員	山崎 利樹
	上席研究員	増田 康利	非常勤職員	3名	
	上席研究員	山田 浩文			
	非常勤職員	1名			
(事)は事務職員、その他は技術職員(非常勤職員を除く)					

(6) 工業技術研究所及び各工業技術支援センターの決算

ア 工業技術研究所

(ア) 歳入

(単位：円)

科 目	調 定 額	収 入 額	収入未済額	備 考
使用料・手数料	30,850	30,850 (証紙 30,598,710)	0	
財 産 収 入	185,760	185,760	0	
諸 収 入	6,136,856	6,136,856	0	
計	6,353,466	6,353,466 (証紙 30,598,710)	0	

(イ) 歳出(人件費を除く)

(単位：円)

科 目	令 達 額	支 出 額	残 額	備 考
経営管理費	6,736,716	6,736,716	0	
経済産業費	196,372,227	196,372,227	0	
計	203,108,943	203,108,943	0	

歳出内訳

経営管理費	経営管理費	6,736,716 円
経済産業費	経済産業費	5,230 円
	経済産業振興費	183,866,988 円
	就業支援費	2,004,990 円
	商工業費	10,495,019 円

イ 沼津工業技術支援センター

(ア) 歳入

(単位：円)

科 目	調 定 額	収 入 額	収入未済額	備 考
使用料・手数料	3,543,980	3,029,158 (証紙 9,241,130)	247,300	
財 産 収 入	326,160	326,160	0	
諸 収 入	1,021,634	990,701	385	
計	4,891,774	4,346,019 (証紙 9,241,130)	247,685	

(イ) 歳出(人件費を除く)

(単位：円)

科 目	令 達 額	支 出 額	残 額	備 考
経営管理費	1,916,352	1,916,352	0	
経済産業費	87,681,286	87,681,286	0	
計	89,597,638	89,597,638	0	

歳出内訳

経営管理費	経営管理費	1,916,352 円
経済産業費	経済産業費	5,080 円
	経済産業振興費	86,231,554 円
	農林業費	72,000 円
	商工業費	1,372,652 円

ウ 富士工業技術支援センター

(ア) 歳入

(単位：円)

科 目	調 定 額	収 入 額	収入未済額	備 考
使用料・手数料	2,962,185	2,865,266 (証紙 13,708,390)	96,919	
財 産 収 入	99,792	99,792	0	
諸 収 入	2,490,607	2,490,607	0	
計	5,552,584	5,455,665 (証紙 13,708,390)	96,919	

(イ) 歳出(人件費を除く)

(単位：円)

科 目	令 達 額	支 出 額	残 額	備 考
経営管理費	0	0	0	
経済産業費	112,573,427	112,573,427	0	
計	112,573,427	112,573,427	0	

歳出内訳

経営管理費	経営管理費	0 円
経済産業費	経済産業費	5,840 円
	経済産業振興費	100,358,389 円
	商工業費	12,209,198 円



エ 浜松工業技術支援センター

(ア) 歳入

(単位：円)

科目	調定額	収入額	収入未済額	備考
使用料・手数料	3,433,470	3,433,470 (証紙 45,627,900)	0	
財産収入	426,276	426,276	0	
諸収入	6,665,770	6,665,770	0	
計	10,525,516	10,525,516 (証紙 45,627,900)	0	

(イ) 歳出(人件費を除く)

(単位：円)

科目	令達額	支出額	残額	備考
経営管理費	6,392,819	6,392,819	0	
経済産業費	231,385,805	231,385,805	0	
計	237,778,624	237,778,624	0	

歳出内訳

経営管理費	経営管理費	6,392,819 円
経済産業費	経済産業費	73,670 円
	経済産業振興費	217,979,054 円
	商工業費	13,333,081 円

(ウ) 国庫補助等

(単位：円)

補助金等の名称	県事業名	事業費
公設工業試験研究所の設備拡充補助事業 ( (公財) J K A )	機械工業育成機器整備事業費 ( 耐振耐候試験機の更新 )	31,255,200
地域オープンイノベーション促進事業(戦略 分野オープンイノベーション環境整備事業) ( 経済産業省 )	機械工業育成機器整備事業費 ( 機器名：耐温度ストレス性評価 試験装置 )	22,896,000

(7) 工業技術研究所及び各工業技術支援センターの主要購入機器設備（金額1,000千円以上）

品名	所属	購入金額 (千円)	事業名	区分
耐振耐候試験機	浜松	31,256	機械工業育成機器整備事業費 (公益財団法人JKA)	団体補助
耐温度ストレス性評価試験装置	浜松	22,896	機械工業育成機器整備事業費 (経済産業省 地域オープンイノベーション促進事業 (戦略分野オープンイノベーション環境整備事業))	
非接触表面性状測定機	本所	26,838	新成長戦略研究推進事業費	県単独
ガス・水蒸気透過度測定装置	富士	6,988	ふじのくにCNFプロジェクト推進事業費	
自動細菌資化性分析装置	沼津	4,104	新成長戦略研究推進事業費	
レーザースキャニングシステム	浜松	3,267		
マイクロスコープ用レンズ	浜松	2,873		
吸引装置付き角形シートマシン	富士	2,322	ふじのくにCNFプロジェクト推進事業費	
醸造プラント冷却装置	沼津	2,214	技術研究所施設備品等整備事業費	
実験用フローテーター	富士	1,097	技術研究所依頼試験費	
ハイブリッド高速冷却遠心機	本所	1,076	新成長戦略研究推進事業費	

2 事業の実績

(1) 試験研究、調査及び指導事務

ア 研究開発

(ア) 研究課題

a 工業技術研究所及び工業技術支援センターの研究課題数

	新成長 戦略 研究	県単独 研究	一般共同 研究	受託研究		個人向け 資金によ る研究	計
				競争的 資金に よる 研究	競争的 資金 以外 の研究		
工業技術研究所	6 (1) <sup>1</sup>	4	1 2	1	1 0	(3) <sup>2</sup>	3 3 (4)
沼津工業技術 支援センター	3	0	2	1	1	0	7
富士工業技術 支援センター	2 (1) <sup>3</sup>	2	1	0	1	0	6 (1)
浜松工業技術 支援センター	1	2	4	2	8	0	1 7
合計	1 2 (2)	8	1 9	4	2 0	0 (3)	6 3 (5)

( )内は内数

- 1 沼津センターが統括して、静岡においても実施
- 2 県単独研究の3課題について、個人向け資金(科研費)を活用
- 3 沼津センターが統括して、富士センターにおいても実施

(a) 工業技術研究所の研究課題の内訳

(単位:件)

	新成長 戦略 研究	県単独 研究	一般共同 研究	受託研究		個人向け 資金によ る研究	計
				競争的 資金に よる 研究	競争的 資金 以外 の研究		
金属材料科	1	0	2	0	0	0	3
化学材料科	0	1	1	0	1	0	3
機械科	1	0	1	0	0	0	2
電子科	1	0	3	0	1	0	5
食品科	1 (1)	0	2	0	6	0	9 (1)
環境科	1	0	1	1	1	0	4
ユニバーサルデザイン科	0	1	1	0	0	(1)	2 (1)
工芸科	1	2	1	0	1	(2)	5 (2)
合計	6 (1) <sup>1</sup>	4	1 2	1	1 0	0 (3) <sup>2</sup>	3 3 (4)

( )内は内数

- 1 沼津センターが統括して、本所においても実施
- 2 個人向け資金(科研費)を活用

(b) 沼津工業技術支援センターの研究課題の内訳

(単位:件)

	新成長 戦略 研究	県単独 研究	一般共同 研究	受託研究		個人向け 資金によ る研究	計
				競争的 資金による 研究	競争的 資金以外の 研究		
バイオ科	2	0	2	0	1	0	5
機械電子科	1	0	0	1	0	0	2
合計	3	0	2	1	1	0	7

(c) 富士工業技術支援センターの研究課題の内訳

(単位:件)

	新成長 戦略 研究	県単独 研究	一般共同 研究	受託研究		個人向け 資金によ る研究	計
				競争的 資金による 研究	競争的 資金以外の 研究		
製紙科	1	2	0	0	1	0	4
機械電子科	1(1)	0	1	0	0	0	2(1)
合計	2(1)	2	1	0	1	0	6(1)

( )内は内数

沼津センターが統括して、富士センターにおいても実施

(d) 浜松工業技術支援センターの研究課題の内訳

(単位:件)

	新成長 戦略 研究	県単独 研究	一般共同 研究	受託研究		個人向け 資金によ る研究	計
				競争的 資金による 研究	競争的 資金以外の 研究		
光科	1	1	0	1	0	0	3
電子科	0	0	1	0	2	0	3
機械科	0	0	0	1	0	0	1
材料科	0	1	2	0	3	0	6
繊維高分子材料科	0	0	1	0	3	0	4
合計	1	2	4	2	8	0	17

b 平成27年度研究課題名一覧  
 ( a ) 工業技術研究所研究課題名一覧

新・継 開始年	課題名	担当部門署	備考
新成長戦略研究			
継続 H26～	分散型エネルギー社会に貢献する小型メタン発酵プラントの開発	環境科	
継続 H26～	“森林の都”を実現する県産材の需要と供給の拡大のための技術開発	工芸科	
新規	次世代照明用部品の総合開発・評価に関する研究	機械科	
新規	食の都しずおかの微生物を用いた新しい発酵食品ビジネスの創出	食品科	
新規	シンクロトロン光のXAFS測定による非晶質合金めっきの構造解析	金属材料科	チャレンジ研究
新規	ドローンの性能評価に関する研究	電子科	緊急対応研究
県単独研究			
継続 H26～	EPDM合成ゴムの特性可視化技術の開発	化学材料科	
継続 H26～	筋負担の簡易測定法の提案 - 製品開発現場での利用に向けて	ユニバーサルデザイン科	科学研究費助成事業 挑戦的萌芽研究(学振)
継続 H26～	冷涼感を有する県産の香り探索と新規アロマ製品の開発	工芸科	科学研究費助成事業 挑戦的萌芽研究(学振)
継続 H26～	バイオマス由来活性炭を用いた電気二重層キャパシタの量産化	工芸科	科学研究費助成事業 若手研究(B)(学振)
一般共同研究			
継続 H26～	電気化学手法によるFe-Mo合金めっき電解条件の最適化	金属材料科	
継続 H26～	レーザー皮膜によるダイカスト金型の長寿命化技術の開発	金属材料科	
新規	赤外線分析技術を応用した樹脂製品の検査工程の高度化	化学材料科	
継続 H26～	新素材・新構造を使った体圧分散型マットレスの製品化	機械科	
継続 H26～	無線・自立型センサモジュールの開発 - 風力発電機監視システムへの応用 -	電子科	
継続 H26～	吸音性能を有する自動車内装材の開発	電子科	
継続 H26～	心地良い音環境の計測手法の開発	電子科	地域課題に係る産学共同研究委託事業(静岡市産学交流センター)
継続 H20～	(地域結集事業 フェーズ ) 静岡発 世界を結ぶ新世代茶飲料と素材の開発	食品科	

一般共同研究			
継続 H26～	茶未利用資源を活用したプレミアムオイルの開発	食品科	
継続 H26～	新規な微生物固定化接触材を利用したメタン発酵装置の開発	環境科	中小企業・小規模事業者ものづくり・商業・サービス革新事業（経産省）
新規	トイレ内の転倒検出装置の開発	ユニバーサルデザイン科	
新規	インジケータ機能を有する消臭製品の開発	工芸科	
受託研究（競争的資金による研究）			
新規	低コスト小規模バイオマス発電システム用ガス化炉の開発	環境科	中小企業・小規模事業者ものづくり・商業・サービス革新事業（経産省）
受託研究（競争的資金以外の研究）			
新規	自動車用耐熱性ゴム部品の開発	化学材料科	
新規	低消費電力型加温制御システムにおけるヒータに関する研究開発	電子科	
新規	だしパックの賞味期限設定のための品質変化の推測	食品科	
新規	びわ茶の成分分析および抽出条件の検討	食品科	
新規	静岡産茶の実油の原料、製造条件の違いによる品質の調査	食品科	
新規	茶生葉を活用したペースト型緑茶の開発と貯蔵時の品質評価	食品科	
新規	白葉茶抽出条件及び経時保管条件の検討	食品科	
新規	緑茶の機能性を強化する新たな飲料の開発	食品科	
新規	藻類抑制剤からの鉄イオン溶出特性及び鉄イオンの分析技術に関する研究	環境科	
新規	過熱水蒸気炭化炉により作製したバイオマス由来活性炭の性能評価	工芸科	

注）学振：（独）日本学術振興会、経産省：経済産業省

(b) 沼津工業技術支援センター研究課題名一覧

新・継 開始年	課題名	担当部門	備考
新成長戦略研究			
継続 H25～	ファルマバレープロジェクトを推進する医療・介護用機器の開発 - 手術支援ロボットの要素技術の研究開発 -	機械電子科	
新規	食の都しずおかの微生物を用いた新しい発酵食品ビジネスの創出	バイオ科	
新規	土壌環境の評価に応用できる生菌群集解析手法の開発	バイオ科	チャレンジ研究
一般共同研究			
継続 H26～	感染症の超高感度簡易迅速診断システムの実用化技術開発 - サイクリング反応に適する精製酵素開発 -	バイオ科	
継続 H26～	遺伝子分離技術に基づく微生物群集解析による乳酸菌発酵食品の品質改良	バイオ科	
受託研究（競争的資金による研究）			
新規	リン酸塩処理槽における槽内加熱ヒータへのスケール付着抑制に関する研究	機械電子科	中小企業研究開発助成（財団）
受託研究（競争的資金以外の研究）			
新規	発酵食品の製造条件による機能性関与成分変化の調査	バイオ科	

注）財団：（公財）静岡県産業振興財団

(c) 富士工業技術支援センター研究課題名一覧

新・継 開始年	課題名	担当部門	備考
新成長戦略研究			
継続 H25～	ファルマバレープロジェクトを推進する医療・介護用機器の開発 - 地域包括ケアシステムを支える見守りシステムの開発 -	機械電子科	
新規	製紙技術を利用したセルロースナノファイバー(CNF)の開発用途に関する調査研究	製紙科	緊急対応研究

県単独研究			
継続 H25～	紙に含まれる木材パルプの複合的評価手法の開発	製紙科	
新規	トイレットペーパーに新聞古紙を利用するための技術開発	製紙科	
一般共同研究			
継続 H26～	高度コーティング膜への特性付与技術の開発	機械電子科	
受託研究（競争的資金以外の研究）			
新規	一般抄造技術を適用した蓄電池用セパレータの開発	製紙科	

(d) 浜松工業技術支援センター研究課題名一覧

新・継続 開始年	課題名	担当部門	備考
新成長戦略研究			
継続 H26～	レーザーによる健康医療機器用プラスチックの加工技術の確立	光科	
県単独研究			
新規	透明体内部の屈折率分布可視化に関する研究	光科	
新規	材料評価における分析精度の高度化に関する研究	材料科	
一般共同研究			
継続 H25～	電波識別技術の実用化開発	電子科	
継続 H26～	難加工材の加工技術およびその評価技術に関する研究	材料科	
新規	電鋳による医療用部品作製技術の開発	材料科	
新規	熱可塑性樹脂をマトリックスとした炭素繊維複合材成形条件の確立	繊維高分子材料科	
受託研究（競争的資金による研究）			
新規	異種積層材用多結晶ダイヤモンド製切削工具の開発	光科	戦略的基盤技術 高度化支援事業 (経産省)
継続	半熔融成形法による高放熱性ヒートシンクの開発	機械科	産学官連携研究開 発助成事業 (財団)



受託研究（競争的資金以外の研究）			
新規	金属表面上の絶縁処理膜の電気的特性評価	電子科	
新規	ギアボックス内スイッチの開発における耐振動およびスイッチング性能の評価	電子科	
新規	Fe系めっき皮膜の生産効率向上の検討	材料科	
新規	温泉水を利用した地熱発電システムに関する研究	材料科	
新規	貴金属めっきにおける析出機構の解析	材料科	
新規	次世代3Dコーデュロイ製造に関する加工技術の開発	繊維高分子材料科	
新規	注染糊の防染機構と代替材料に関する研究	繊維高分子材料科	
新規	超高強力ポリエチレン繊維の染色性、表面性を改善させる加工方法	繊維高分子材料科	

注）経産省：経済産業省、財団：（公財）静岡県産業振興財団

(イ) 外部研究員招へい事業

a 工業技術研究所及び工業技術支援センターの合計

	人数	指導時間
工業技術研究所	9	59
沼津工業技術支援センター	4	40
富士工業技術支援センター	4	40
浜松工業技術支援センター	8	90
合計	25	229

b 工業技術研究所外部研究員

所属	専門	指導を受けた内容	指導時間
上野製薬株式会社	食品衛生、食品添加物	日持向上剤、保存料を中心とした食品添加物の選択と使用のポイントについて	2
加藤特許商標事務所	知的財産管理・出願手続、許認可等申請手続	知的財産権に関する指導	18
新潟大学大学院自然科学研究科	生体信号処理、医用生体工学、応用健康科学	筋電図など生体計測の最新計測方法、筋繊維伝導速度の解析方法について	8
静岡大学名誉教授	プロセス・化学工学、反応工学・プロセスシステム、廃油処理、エネルギー変換	燃料電池・蓄電池の作動原理及び内部現象について	4
東京理科大学理工学部工業化学科	電気分析化学	電気化学測定に関する技術的指導	4
(有)エー・ダブル電子	材料物性、電子回路	電子回路の小型低消費電力化および小型風向風速センサの試作について	10
(株)リデック	信号処理	室内音響計測の手法及び技術的課題	3
(株)イセンシャル	電気回路設計	電気二重層キャパシタを利用した回路設計技術	6
群馬大学大学院理工学府分子科学部門	工業電気化学	窒素含有活性炭に関する技術的指導	4
合計 9 人		合計 59 時間	

c 沼津工業技術支援センター外部研究員一覧

所 属	専 門	指導を受けた内容	指導時間
沼津工業高等専門学校 物質工学科	無機化学、分子 動力学シミュレ ーション	スケール付着のメカニズムについて	16
静岡県立大学 食品栄 養科学部	蛋白質工学	乳酸菌の持つ酵素の特定と評価の手法 について	8
東京農業大学 応用生 物科学部	発酵・醸造	酒造醸造について	9
(株)葦屋鳴沢 反射炉ピヤ部門	ビール醸造	ビール製造の実際について	7
合計 4人		合計 40時間	

d 富士工業技術支援センター外部研究員一覧

所 属	専 門	指導を受けた内容	指導時間
名古屋大学大学院 生命農学研究科	木質科学、分光 分析	紙に含まれる木材パルプの複合的評価 手法の開発	16
(株)島津製作所	金属材料	万能材料試験技術について	4
(一社)静岡県紙パルプ 技術協会	製紙工学	トイレットペーパーに新聞古紙を利用 するための技術開発	16
(株)島津テクノリサー チ	材料分析	蛍光X線分析技術について	4
合計 4人		合計 40時間	

e 浜松工業技術支援センター外部研究員一覧

所 属	専 門	指導を受けた内容	指導時間
(株)エステック	機械加工	難加工材の加工技術およびその評価 技術に関する研究	4
静岡大学工学部 電気 電子工学科	計測工学、ディ ジタル信号処理	電波識別技術の実用化開発	12
神戸女子大学	繊維加工	熱可塑性樹脂をマトリックスとした 炭素繊維複合材料成形条件の確立	8
静岡大学工学部機械工 学科	機械加工	難加工材の加工技術およびその評価 技術	16
静岡文化芸術大学 デ ザイン学部	機械設計・デザ イン	難加工材の加工技術およびその評価 技術	24
静岡大学大学院 工学 研究科 機械工学専攻	塑性加工	難加工材の加工技術およびその評価 技術に関する研究	6
(株)福島テック	プラスチック	熱可塑性樹脂をマトリックスとした 炭素繊維複合材料成形条件の確立	12
九州大学大学院工学研 究院機械工学部門	金属加工 粉体加工	金属加工および粉体加工	8
合計 8人		合計 90時間	

(ウ) 特許等の登録及び出願

a 工業技術研究所及び工業技術支援センターの合計（平成28年3月31日現在）

	出願中件数	登録件数
工業技術研究所	5 <sup>1)</sup>	20
沼津工業技術支援センター	1	1 <sup>2)</sup>
富士工業技術支援センター	3	4
浜松工業技術支援センター	7 <sup>3)</sup>	9 <sup>4)</sup>
合計	16	34

1) 米国特許出願1件を含む。

2) 著作権。

3) 外国特許出願5件含む。

4) 外国特許登録3件含む。

b aのうち特許等出願、登録及び消滅件数

	出願件数	登録件数	消滅件数
工業技術研究所	1	1	2
沼津工業技術支援センター	1	0	2
富士工業技術支援センター	1	1	1
浜松工業技術支援センター	0	1 <sup>5)</sup>	0
合計	3	3	5

5) 外国特許登録。

イ 技術相談等

(ア) 技術相談

a 工業技術研究所及び工業技術支援センターの相談件数合計

	工業技術 研究所	沼津工業技術 支援センター	富士工業技術 支援センター	浜松工業技術 支援センター	合計
技術相談	11,035	2,217	2,561	7,484	23,297
実地指導	1,384	151	234	419	2,188
合計	12,419	2,368	2,795	7,903	25,485

b 工業技術研究所の相談件数

所 属	金属材料科	化学材料科	機械科	電子科
技術相談	944	1,464	1,347	904
実地指導	14	37	75	73
合計	958	1,501	1,422	977
所 属	食品科	環境科	ユニバーサル デザイン科	工芸科
技術相談	1,434	1,066	1,701	1,757
実地指導	146	118	138	528
合計	1,580	1,184	1,839	2,285
所 属	その他	-	-	合計
技術相談	418	-	-	11,035
実地指導	255	-	-	1,384
合計	673			12,419

c 沼津工業技術支援センター相談件数

所 属	バイオ科	機械電子科	その他	合計
技術相談	329	1,864	24	2,217
実地指導	53	53	45	151
合計	382	1,917	69	2,368

d 富士工業技術支援センター相談件数

所 属	製紙科	機械電子科	その他	合計
技術相談	1,129	1,409	23	2,561
実地指導	15	194	25	234
合計	1,144	1,603	48	2,795

e 浜松工業技術支援センター相談件数

所 属	光科	電子科	機械科	材料科
技術相談	727	1,334	678	3,090
実地指導	28	33	47	110
合計	755	1,367	725	3,200
所 属	繊維高分子 材料科	その他	-	合計
技術相談	1,391	264	-	7,484
実地指導	97	104	-	419
合計	1,488	368	-	7,903

## (イ) 依頼試験

## a 依頼試験内訳（工業技術研究所及び工業技術支援センターの合計）

		件数	金額(円)
1 分析	定性分析	2,048	12,762,990
	定量分析	631	2,995,770
2 工業用材料	材料強度試験	1,925	3,829,290
	長期性能試験	25,291	5,855,650
	特殊試験	501	3,265,410
3 木材工業	木材試験	20	110,940
	塗料試験	5	7,550
	製品試験	686	2,928,080
4 化学工業	金属表面処理試験	137	350,920
	プラスチック、ゴム試験	3	23,250
	微生物試験	0	0
	セラミック試験	1	14,150
	熱勘定試験	0	0
5 機械金属工業	精密測定	216	498,270
	機械器具検査	0	0
	金属試験	469	1,971,620
	電気試験	48	203,880
6 包装材料	包装材料試験	28	37,730
7 繊維工業	繊維材料試験	7	15,780
	編織試験	28	284,200
	染色試験	3	12,400
	整理仕上加工試験	0	0
8 製紙工業	原材料試験	110	1,229,870
	紙質試験	734	2,047,790
	製紙及び紙加工試験	65	505,140
9 加工	塗装加工	0	0
	木竹材加工	0	0
10 設計・調整	機械等の設計及び調整	424	1,207,960
	繊維デザイン	25	58,720
	商業及び工業デザイン	26	69,560
11 写真・複写		314	134,130
12 成績書の複本		34	20,090
合 計		33,779	40,441,140

b 工業技術研究所の依頼試験実績

		件数	金額(円)
1 分析	定性分析	338	4,287,600
	定量分析	368	1,380,900
2 工業用材料	材料強度試験	1,259	2,033,170
	長期性能試験	5,773	1,369,130
	特殊試験	313	1,784,540
3 木材工業	木材試験	20	110,940
	塗料試験	5	7,550
	製品試験	686	2,928,080
4 化学工業	金属表面処理試験	0	0
	プラスチック、ゴム試験	3	23,250
	微生物試験	0	0
	セラミック試験	1	14,150
	熱勘定試験	0	0
5 機械金属工業	精密測定	59	66,080
	機械器具検査	0	0
	金属試験	29	172,910
	電気試験	6	71,160
6 包装材料	包装材料試験	0	0
7 繊維工業	繊維材料試験	0	0
	編織試験	0	0
	染色試験	0	0
	整理仕上加工試験	0	0
8 製紙工業	原材料試験	0	0
	紙質試験	2	15,680
	製紙及び紙加工試験	0	0
9 加工	塗装加工	0	0
	木竹材加工	0	0
10 設計・調整	機械等の設計及び調整	143	634,240
	繊維デザイン	0	0
	商業及び工業デザイン	26	69,560
11 写真・複写		22	8,690
12 成績書の複本		2	1,960
合 計		9,055	14,979,590

c 沼津工業技術支援センターの依頼試験実績

		件数	金額(円)
1 分析	定性分析	40	296,200
	定量分析	0	0
2 工業用材料	材料強度試験	56	191,660
	長期性能試験	2,279	470,380
	特殊試験	47	250,060
3 木材工業	木材試験	0	0
	塗料試験	0	0
	製品試験	0	0
4 化学工業	金属表面処理試験	1	7,160
	プラスチック、ゴム試験	0	0
	微生物試験	0	0
	セラミック試験	0	0
	熱勘定試験	0	0
5 機械金属工業	精密測定	124	380,560
	機械器具検査	0	0
	金属試験	29	101,090
	電気試験	42	132,720
6 包装材料	包装材料試験	0	0
7 繊維工業	繊維材料試験	0	0
	編織試験	0	0
	染色試験	0	0
	整理仕上加工試験	0	0
8 製紙工業	原材料試験	0	0
	紙質試験	0	0
	製紙及び紙加工試験	0	0
9 加工	塗装加工	0	0
	木竹材加工	0	0
10 設計・調整	機械等の設計及び調整	0	0
	繊維デザイン	0	0
	商業及び工業デザイン	0	0
11 写真・複写		15	2,130
12 成績書の複本		0	0
合 計		2,633	1,831,960



d 富士工業技術支援センターの依頼試験実績

		件数	金額(円)
1 分析	定性分析	3	23,970
	定量分析	0	0
2 工業用材料	材料強度試験	61	128,780
	長期性能試験	0	0
	特殊試験	0	0
3 木材工業	木材試験	0	0
	塗料試験	0	0
	製品試験	0	0
4 化学工業	金属表面処理試験	0	0
	プラスチック、ゴム試験	0	0
	微生物試験	0	0
	セラミック試験	0	0
	熱勘定試験	0	0
5 機械金属工業	精密測定	3	7,410
	機械器具検査	0	0
	金属試験	0	0
	電気試験	0	0
6 包装材料	包装材料試験	28	37,730
7 繊維工業	繊維材料試験	0	0
	編織試験	0	0
	染色試験	0	0
	整理仕上加工試験	0	0
8 製紙工業	原材料試験	110	1,229,870
	紙質試験	732	2,032,110
	製紙及び紙加工試験	65	505,140
9 加工	塗装加工	0	0
	木竹材加工	0	0
10 設計・調整	機械等の設計及び調整	0	0
	繊維デザイン	0	0
	商業及び工業デザイン	0	0
11 写真・複写		0	0
12 成績書の複本		15	9,800
合 計		1,017	3,974,810

e 浜松工業技術支援センターの依頼試験実績

		件数	金額(円)
1 分析	定性分析	1,667	8,155,220
	定量分析	263	1,614,870
2 工業用材料	材料強度試験	549	1,475,680
	長期性能試験	17,239	4,016,140
	特殊試験	141	1,230,810
3 木材工業	木材試験	0	0
	塗料試験	0	0
	製品試験	0	0
4 化学工業	金属表面処理試験	136	343,760
	プラスチック、ゴム試験	0	0
	微生物試験	0	0
	セラミック試験	0	0
	熱勘定試験	0	0
5 機械金属工業	精密測定	30	44,220
	機械器具検査	0	0
	金属試験	411	1,697,620
	電気試験	0	0
6 包装材料	包装材料試験	0	0
7 繊維工業	繊維材料試験	7	15,780
	編織試験	28	284,200
	染色試験	3	12,400
	整理仕上加工試験	0	0
8 製紙工業	原材料試験	0	0
	紙質試験	0	0
	製紙及び紙加工試験	0	0
9 加工	塗装加工	0	0
	木竹材加工	0	0
10 設計・調製	機械等の設計及び調製	281	573,720
	繊維デザイン	25	58,720
	商業及び工業デザイン	0	0
11 写真・複写		277	123,310
12 成績書の複本		17	8,330
合 計		21,074	19,654,780

## (ウ) 機器使用等

## a 工業技術研究所及び工業技術支援センターの機器使用等の実績合計

		時間数	金額(円)
機器使用		54,357	54,368,640
研修施設等使用	研修施設	531	363,150
	無響室	59	222,000
	電波暗室	520	3,781,200
合 計		55,467	58,734,990

## b 工業技術研究所の機器使用等の実績

		時間数	金額(円)
機器使用		16,142	15,475,170
研修施設等使用	研修施設	127	58,850
	無響室	23	85,100
	電波暗室 <sup>1)</sup>	-	-
合 計		16,292	15,619,120

1) 電波暗室の施設はない

## c 沼津工業技術支援センターの機器使用等の実績

		時間数	金額(円)
機器使用		6,758	7,297,970
研修施設等使用	研修施設	75	111,200
	無響室 <sup>1)</sup>	-	-
	電波暗室 <sup>2)</sup>	-	-
合 計		6,833	7,409,170

1) 無響室の施設はない

2) 電波暗室の施設はない

## d 富士工業技術支援センターの機器使用等の実績

		時間数	金額(円)
機器使用		5,245	9,639,480
研修施設等使用	研修施設	258	94,100
	無響室 <sup>1)</sup>	-	-
	電波暗室 <sup>2)</sup>	-	-
合 計		5,503	9,733,580

1) 無響室の施設はない

2) 電波暗室の施設はない

## e 浜松工業技術支援センターの機器使用等の実績

		時間数	金額(円)
機器使用		26,212	21,956,020
研修施設等使用	研修施設	71	99,000
	無響室	36	136,900
	電波暗室	520	3,781,200
合 計		26,839	25,973,120

(ウ) 研究会の育成

a 工業技術研究所

研究会名	発足年月	会員数
静岡県プレス技術研究会	昭和44年 6月	35社
静岡県食品技術研究会	昭和47年12月	111社
静岡県資源環境技術研究会	昭和44年11月	82社
静岡県プラスチック技術研究会	平成 2年 6月	36社
静岡県ユニバーサルデザイン・工芸研究会	平成 7年 5月	44社
静岡燃料電池技術研究会	平成13年 8月	27社
静岡椅子研究会	平成20年10月	8人

b 沼津工業技術支援センター

研究会名	発足年月	会員数
静岡県東部精密技術研究会	平成26年 4月	28社
静岡県バイオテクノロジー研究会	昭和59年 9月	33社

c 富士工業技術支援センター

研究会名	発足年月	会員数
静岡県紙パ技術研究フォーラム	昭和62年 9月	9社
ふじのくにCNFフォーラム	平成27年 6月	102社

d 浜松工業技術支援センター

研究会名	発足年月	会員数
浜松機械技術研究会	昭和39年12月	61社
表面技術研究会	昭和60年 8月	38社
浜松繊維加工技術研究会	平成 7年 7月	13社
浜松品質工学研究会	平成 9年 3月	49人
浜松EMC研究会	平成20年 6月	20社
浜松地域CFRP事業化研究会	平成21年 4月	53社
浜松地域チタン事業化研究会	平成21年 7月	25社

(オ) 研修生の受入れ

a 工業技術研究所及び工業技術支援センターの合計

単位：人

所属	研修区分	一般研修	就業体験研修	連携大学院
工業技術研究所		16	7	1
沼津工業技術支援センター		3	1	0
富士工業技術支援センター		0	4	0
浜松工業技術支援センター		0	0	0
合計		19	12	1

b 工業技術研究所の研修生

一般研修			
担当部門	研修項目	研修期間	研修生氏名
食品科	新規だしの加工及び品質評価方法	平成27年4月10日～平成28年3月31日	県内企業 1人
	品質評価方法及び関連機器の操作方法とデータ解析方法の習得	平成27年4月20日～平成28年3月31日	県内企業 1人
	品質指標（フレーバー、呈味成分、テクスチャー等）の評価技術及びデータ解析方法	平成27年4月27日～平成28年3月31日	県内企業 1人
	HPLC測定	平成27年5月1日～平成28年3月31日	県内大学 1人
	LCMS及びGCMSによる試料分析～データ解析	平成27年5月15日～平成28年3月31日	県内企業 3人
	賞味期限等理化学的検査等製品立ち上げに関する試験及び試作	平成27年6月1日～平成27年12月31日	県内企業 2人
機械科	昼光照明シミュレーションの評価方法の取得	平成27年8月1日～平成28年3月31日	県内企業 2人
食品科	文献調査、微生物検査、官能試験	平成27年8月17日～平成28年3月31日	県内企業 1人
化学材料科	分子シミュレーション	平成27年11月25日～平成27年11月26日	県外公設試験研究機関 2人
食品科	アミノ酸測定機器での測定	平成27年12月14日～平成28年3月31日	県内企業 1人
機械科	測色・測光・光学シミュレーション	平成27年12月25日～平成28年1月18日	県外公設試験研究機関 1人
就業体験研修（インターンシップ）			
担当部門	研修項目	研修期間	研修生氏名
企画調整部 企画調整班	職場体験学習	平成27年5月20日～平成27年5月21日	県内中学生 2人

就業体験研修（インターンシップ）			
化学材料科 食品科 環境科	各科の業務	平成 27 年 8 月 17 日～ 平成 27 年 8 月 21 日	県外大学 2 人
食品科	食品の試作、分析、計測、 評価業務及び企業訪問	平成 27 年 8 月 31 日～ 平成 27 年 9 月 4 日	県内大学 3 人
連携大学院関係			
担当部門	研修項目	研修期間	研修生氏名
工芸科	コーヒー残渣活性炭ボード のVOC吸着性能	平成 27 年 4 月 1 日～ 平成 27 年 9 月 30 日	県内大学 1 人

c 沼津工業技術支援センターの研修生

一般研修			
担当部門	研修項目	研修期間	研修生氏名
バイオ科	抗体タンパク質の発現技術 とその改良技術	平成 27 年 4 月 10 日～ 平成 28 年 3 月 10 日	県内企業 1 人
	変性剤濃度勾配ゲル電気泳 動(DGGE)法を用いた微生物 群集解析手法の基礎技術	平成 27 年 5 月 1 日～ 平成 28 年 2 月 29 日	県内工業高等専門学校 1 人
	酵素反応を用いた酢酸（有 機酸）等の定量	平成 27 年 11 月 30 日～ 平成 28 年 2 月 26 日	県内工業高等専門学校 1 人
就業体験研修（インターンシップ）			
担当部門	研修項目	研修期間	研修生氏名
バイオ科 機械電子科	各科の業務	平成 27 年 8 月 24 日～ 平成 27 年 8 月 28 日	県外大学 1 人
連携大学院関係			
担当部門	研修項目	研修期間	研修生氏名
受入れなし			

d 富士工業技術支援センターの研修生

一般研修			
担当部門	研修項目	研修期間	研修生氏名
受入れなし			
就業体験研修（インターンシップ）			
担当部門	研修項目	研修期間	研修生氏名
製紙科 機械電子科	各科の業務	平成 27 年 9 月 8 日 ~ 平成 27 年 9 月 10 日	県内工業高校 3 人
製紙科・機械電子科	各科の業務	平成 27 年 9 月 14 日 ~ 平成 27 年 9 月 18 日	県外大学 1 人
連携大学院関係			
担当部門	研修項目	研修期間	研修生氏名
受入れなし			

e 浜松工業技術支援センターの研修生

一般研修			
担当部門	研修項目	研修期間	研修生氏名
受入れなし			
就業体験研修（インターンシップ）			
担当部門	研修項目	研修期間	研修生氏名
受入れなし			
連携大学院関係			
担当部門	研修項目	研修期間	研修生氏名
受入れなし			

ウ 技術情報提供

(ア) 研究報告関係

研究成果事例集	展示会での閲覧及び協議会等で配布 ホームページに掲載
工業技術研究所研究報告	1,300部

(イ) 研究発表会関係

工業技術研究所 沼津・富士・浜松 工業技術支援セ ンター	開催年月日	H28.3.11
	参加者数	210人
	要旨集	500部
沼津工業技術 支援センター	開催年月日	H27.5.15
	参加者数	54人
	要旨集	80部
富士工業技術 支援センター	開催年月日	H28.3.18
	参加者数	97人
	要旨集	110部
浜松工業技術 支援センター	開催年月日	H27.6.12
	参加者数	166人
	要旨集	180部

\* H28.3.11の研究発表会は、本所及び各工業技術支援センターが合同で開催した。

a 工業技術研究所研究発表会の実績（平成28年3月11日）

テーマ名	発表者
次世代照明の樹脂光学部品開発	鈴木敬明
レーザーによる透明プラスチックの接合と染色	植田浩安 (浜松)
食品廃棄物のメタン発酵処理によるエネルギー回収と発酵残渣液の有効利用	太田良和弘
県産針葉樹材の利活用に向けた取り組み	赤堀 篤
要介護者を無拘束で見守るセンサシステムの開発	中山 洋 (富士)
医療現場等での局所圧迫による創傷予防 技術開発を目指して 無騒音・無振動のアクチュエータの開発	鬼久保郁雄 細野美奈子 (沼津)
食の都しずおかの微生物をビジネスに！ 微生物ライブラリーの構築と新規発酵食品の開発	岩原健二 (沼津)
県内味噌・醤油蔵からの耐塩性菌の収集とその利用	袴田雅俊
鉄系合金めっき開発におけるシンクロトロン光による評価技術の活用	綿野哲寛
ダイカスト金型向けレーザーコーティング技術	増井裕久



テーマ名	発表者
プラスチック射出成形品の異物付着対策	田中翔悟
プラスチックの化学特性を見る - 顕微赤外分光イメージング法による解析事例 -	菅野尚子
プラスチック加工時の赤外線による非接触熱モニタリング	渥美博安
生体力学シミュレーションの精度検証を目的としたマットレス変形量測定手法の開発	船井 孝
非接触三次元測定機の精度評価	柳原 亘
次世代照明の明るさを測る - 積分球を用いた全光束測定 -	志智 亘
次世代照明の配光を測る	豊田敏裕
心地良い音環境をもたらす調音パネルの開発における音響評価	油上 保
無線・自立型センサモジュールの開発	竹居 翼
ナノメートル単位の極細繊維を応用した吸音材料の開発	木野直樹
生姜と松葉を活用した新たな機能性茶飲料の開発	池ヶ谷 篤
茶の実油を活用した商品開発	渡瀬隆也
茶の実オイル・練り香水等のデザイン支援事例	多々良哲也
トイレ内の転倒検出	小松 剛
腰の筋負担を可視化	易 強
新規な微生物固定化接触材を利用したメタン発酵装置の開発	岡本哲志
分散型エネルギー社会に貢献する小型メタン発酵プラントの開発 メタン発酵効率化のための油分解菌の探索	室伏敬太
分散型エネルギー社会に貢献する小型メタン発酵プラントの開発 メタン発酵のための繊維質の前処理	中島大介
"森の都"を実現する県産材の需要と拡大のための技術開発 自然の力を利用して燃えない木材を作るには	藤浪健二郎
"森の都"を実現する県産材の需要と拡大のための技術開発 針葉樹向け高硬度塗料の性能評価	渡邊雅之
静岡産「バラの香り」の商品化への取り組み	山下里恵
バイオマス原料を用いた活性炭開発を支援します	菊池圭祐
救命着機能を付与した交通安全バッグの製品化支援	前田研司

b 沼津工業技術支援センター研究発表会の実績（平成27年5月15日）

テーマ名	発表者
花酵母で酒造り - 河津桜由来の清酒醸造用酵母を分離 -	天野祥吾
花酵母で酒造り - 河津桜酵母によるプラント規模の試験醸造 -	勝山 聡
医療現場等での局所圧迫による創傷予防技術開発を目指して	鬼久保郁雄
JKA 補助事業で三次元測定機をリフレッシュ	本多正計

c 富士工業技術支援センター研究発表会の実績（平成28年3月18日）

テーマ名	発表者
高度コーティング膜への特性付与技術の開発	高木 誠
無拘束見守りセンサシステムの開発 呼吸・脈拍計測センサシートの開発	岡田慶雄
無拘束見守りセンサシステムの開発 マットレス下離床センサの開発	白井 圭
無拘束見守りセンサシステムの開発 要介護者の状態を見守るシステムの開発	中山 洋
セルロースナノファイバーに関する調査報告および静岡県における取り組み状況	深沢博之
近赤外分光法を用いた木材パルプの繊維鑑別について	齊藤将人
トイレットペーパーに新聞古紙を利用するための技術開発	齊藤和明

d 浜松工業技術支援センター研究発表会の実績（平成27年6月12日）

テーマ名	発表者
ピコ秒レーザーによる薄板曲げ ~レーザーピーンフォーミングのコストダウンを目指して~	鷺坂芳弘
透明プラスチックの2 $\mu$ m 波長帯での光吸収率の測定	山下清光
眼鏡レンズのレーザー染色を実現	植田浩安
透明体の均質性を評価する	中野雅晴
蛍光 X 線によるめっき膜厚測定の注意点	田中宏樹
チタン合金のエンドミル加工における形状精度に関する研究	大澤洋文
パワースペクトルの重心監視による表面粗さの判別	針幸達也
切削加工面の残留応力に及ぼす切削抵抗の影響	植松俊明
金属組織試験における前処理のポイント ~金属組織試験の思わぬ落とし穴~	是永宗祐
半熔融成形法を適用した高熱伝導アルミニウム合金の開発	岩澤 秀

テーマ名	発表者
電波識別のための評価用信号の生成	杉森正康
熱溶解樹脂積層 3 次元造形システム ( F D M ) の紹介	伊藤芳典
CAE による技術相談及び研究開発事例紹介	長津義之
陽極酸化処理の各工程がチタンの発色に及ぼす影響について	田光伸也

## (ウ) 研究所情報等の提供

刊行物名	発行部数 (部)	ホームページ 掲載
工業技術研究所ニュース	1,500	
沼津工業技術支援センターニュース	1,200	
富士工業技術支援センターニュース	1,200	
浜松工業技術支援センターニュース	2,000	
工業技術情報(年2回)	5,400	
静岡県工業技術研究所年報	-	
静岡県工業技術研究所メールマガジン	20回	-

## (エ) 研究所の事業広報等

見学の受入	工業技術研究所		497人
	沼津工業技術支援センター		64人
	富士工業技術支援センター		185人
	浜松工業技術支援センター		145人
「県民の日」	工業技術研究所	開催年月日	H27.7.31
		参加者数	278人
研究所 フェア	沼津工業技術 支援センター	開催年月日	H27.7.31
		参加者数	128人
及び センター フェア	富士工業技術 支援センター	開催年月日	H27.7.31
		参加者数	255人
	浜松工業技術 支援センター	開催年月日	H27.7.31
		参加者数	321人

(オ) 講習会等

a 工業技術研究所及び工業技術支援センターの実績合計

	実施回数	参加者数
工業技術研究所	46	1,598
沼津工業技術支援センター	12	423
富士工業技術支援センター	19	1,050
浜松工業技術支援センター	31	1,086
合計	108	4,157

b 工業技術研究所の実績

年月日	件名	会場	参加人数	共催等
H27.4.21 H27.5.19 H27.6.1 H27.7.21 H27.8.18 H27.9.15	静岡椅子研究会	工業技術研究所	10 10 10 10 4 10	静岡椅子研究会
H27.5.15	静岡県プレス技術研究会総会講演会	もくせい会館	25	静岡県プレス技術研究会
H27.6.19	工場見学会	鳥居食品(株) 天星製油(株)	37	静岡県資源環境技術研究会
H27.6.24 H27.10.2 H27.12.10 H28.1.20 H28.2.17	ユニバーサルデザイン・工芸研究会 講習会	工業技術研究所 山梨県工業技術センター (株)印傳屋上原勇七 (株)石友 見学会 静岡市産学交流センター 工業技術研究所	37 22 22 31 12	静岡県ユニバーサルデザイン・工芸研究会
H27.7.8 H28.2.17 H28.3.8	食品技術研修会 販路開拓支援セミナー 食品工場の製造環境向上セミナー 食品機械装置活用セミナー	静岡グランドホテル中島屋 サーラシティ浜松 ホテルアソシア静岡	119 92 66	静岡県食品技術研究会 静岡県食品産業協議会
H27.8.5	学習会「燃料電池と蓄電池のはなし」	工業技術研究所	21	静岡県資源環境技術研究会 静岡燃料電池技術研究会
H27.8.18	工場見学会	池島フーズ(株)、袋井市立中部学校給食センター	45	静岡県食品技術研究会 静岡県食品産業協議会
H27.8.21	未来に繋げる超精密金型加工技術	工業技術研究所	56	静岡県プレス技術研究会

年月日	件名	会場	参加人数	共催等
H27.8.24	研究室見学会	岐阜大学 金型創成技術 研究センター	5	静岡県プラスチック技術研究会
H27.8.28	デザイン活用講演会・マッチ ング交流会	工業技術研究所	51	
H28.1.28		静岡県男女共同参画セン ターあざれあ	35	
H27.9.18	食品技術研修会「シーズ&ニ ーズビジネスマッチング研究 発表会」	ホテルプリヴェ静岡ステ ーション	122	静岡県食品技術研究会 静岡県食品産業協議会 静岡県中小企業団体中央会 静岡大学食品・生物産業創出拠点 静岡大学博士キャリア開発セン ター
H27.10.7	雇用創造プロジェクト講習会 「HACCP実践ワークシ ョップ」	工業技術研究所	20	静岡県食品技術研究会
H27.10.21	「微生物検査の基礎実習」		8	
H27.11.5	「工場視察会」	(株)ヤマザキ吉田大幡工 場	9	
H27.11.18	「食品異臭分析の実践研 修」	工業技術研究所	42	静岡県食品技術研究会
H28.3.3 -3.4	「ISO試験法ワークショッ プin静岡」	東海大学海洋学部	31	静岡県食品技術研究会
H27.10.20	工場見学会	エビナ電化工業(株) 昭和電工(株)	10	静岡県プラスチック技術研究会
H27.10.26	環境視察会	富士ヶ嶺バイオセンター サントリー登美の丘ワイ ナリー	19	静岡県資源環境技術研究会
H27.11.25	音響技術講習会	工業技術研究所	20	静岡県工業技術研究所
H27.12.21	照明器具の測光技術	工業技術研究所	60	静岡県プレス技術研究会
H27.11.18	見学会	大成建設(株) 千代田化工建設(株)	13	静岡燃料電池研究会
H27.11.19	第20回分析技術研修会	工業技術研究所	38	静岡県資源環境技術研究会 静岡県工業技術研究所 (一社)静岡県計量協会環境計量 証明部会
H27.12.2	プラスチック成形技術講習会 「透明樹脂技術について そ の1」	工業技術研究所	23	静岡県プラスチック技術研究会
H28.1.22	講習会「射出成形加工と樹脂 物性 in 浜松」	アクトシティ浜松	22	プラスチック成形加工学会東 海支部 静岡県プラスチック技術研究会

年月日	件名	会場	参加人数	共催等
H28.2.26	高分子材料分析技術講習会 「成形加工性の評価と最新の成形品評価技術」	工業技術研究所	27	静岡県プラスチック技術研究会
H28.3.4	排水処理技術セミナー	工業技術研究所	65	静岡県資源環境技術研究会 静岡県工業技術研究所 (一社)静岡県計量協会 環境計量 証明部会
H28.3.2	金属材料の不具合・損傷解析	工業技術研究所	68	静岡県プレス技術研究会
H27.11.20 H27.11.27 H27.12.4	第1回使用者育成ワークショップ	工業技術研究所	14 12 10	
H28.2.19 H28.2.26 H28.3.4	第2回使用者育成ワークショップ	工業技術研究所	9 9 7	
H28.3.11	工業技術研究所研究発表会	グランシップ	210	
実施回数 46回			参加者数 1,598人	

(b) 沼津工業技術支援センターの実績

年月日	件名	会場	参加人数	共催等
H27.4.10	静岡県東部精密技術研究会 第26回総会 特別講演会	沼津商工会議所	44	静岡県東部精密技術研究会 沼津センター協議会
H27.5.15	沼津工業技術支援センター研究発表会	沼津工業技術支援センター	54	沼津センター協議会
H27.5.15	レーザー加工技術基礎セミナー-2015	プラサ ヴェルデ	14	(公財)静岡県産業振興財団 光産業創成大学院大学 (公財)浜松地域イノベーション 推進機構
H27.6.17	静岡県バイオテクノロジー研究会 特別講演会	グランディエールブuket ーカイ	33	静岡県バイオテクノロジー研究会
H27.7.10 H27.10.23 H28.1.26	静岡県東部精密技術研究会 第73～75回研究会	沼津工業技術支援センター 第74回は静岡がんセンター ー 研究所	48 31 62	静岡県東部精密技術研究会 沼津センター協議会
H27.9.10	静岡県東部精密技術研究会 第66回見学会	(株)IHI	17	静岡県東部精密技術研究会 沼津センター協議会
H27.11.13	現場技術者のための三次元測定機の活用法	沼津工業技術支援センター	36	沼津センター協議会
H27.11.27	医療機器開発のための電気的安全性評価	沼津工業技術支援センター	31	沼津センター協議会
H27.12.2	静岡県バイオテクノロジー研究会企業発表会・講演会	男女共同参画センターあざれあ	35	静岡県バイオテクノロジー研究会
H28.3.3	第67回見学会	丸善工業(株)本社工場	18	静岡県東部精密技術研究会
実施回数 12回			参加者数 423人	

## (c) 富士工業技術支援センターの実績

年月日	件名	会場	参加人数	共催等
H27.5.27 H27.7.16 H27.8.10 H28.2.9 H28.3.8	紙関連技術講演会	富士工業技術支援センター	60 84 60 76 84	富士センター協議会 (一社)静岡県紙パルプ技術協会 (一社)静岡県紙業協会(H27.8.10のみ)
H27.6.4	「無から形にする楽しさ 世界で使われている嬉しさ」講演会	ホテルグランド富士	59	富士センター協議会機械・電子部会
H27.6.9	静岡県紙パ技術研究フォーラム総会	富士工業技術支援センター	12	静岡県紙パ技術研究フォーラム
H27.7.22	静岡県紙パ技術研究フォーラム見学会	信栄製紙(株)	23	静岡県紙パ技術研究フォーラム
H27.8.26 H27.11.16 H28.2.26	静岡県紙パ技術研究フォーラム勉強会	富士工業技術支援センター	12 15 12	静岡県紙パ技術研究フォーラム
H27.10.1	ISOセミナー「ISO14001:2015年版解説セミナー～移行の重要ポイント～」	富士工業技術支援センター	32	富士センター協議会機械・電子部会
H27.11.13	組成分析・観察技術セミナー「適切な不良・異物分析のためのスキルアップセミナー」	富士工業技術支援センター	43	富士センター協議会機械・電子部会
H28.1.12 H28.2.2 H28.2.16	ふじのくにCNFフォーラム技術講演会	ふじさんめっせ (H28.2.2は富士市交流プラザ)	117 88 102	ふじのくにCNFフォーラム 富士センター協議会 富士市
H28.1.15	PSEセミナー「電気用品安全法(PSE)入門～知らず知らずの違反行為～」	富士工業技術支援センター	30	富士センター協議会機械・電子部会
H28.3.10	講演会：ペップトーク「やる気を引き出す魔法の言葉」	富士工業技術支援センター	44	富士センター協議会機械・電子部会
H28.3.18	平成27年度富士工業技術支援センター研究発表会	富士工業技術支援センター	97	
実施回数 19回			参加者数 1,050人	



## (d) 浜松工業技術支援センターの実績

年月日	件名	会場	参加人数	共催等
H27.5.29 H27.6.26 H27.7.24 H27.8.28 H27.9.30	浜松品質工学研究会 月例会	浜松工業技術支援センター	18 21 17 12 12	浜松品質工学研究会
H27.6.12	浜松工業技術支援センター 第8回研究・開発成果発表会	浜松工業技術支援センター	166	
H27.6.18	機械技術研究会特別講演会	クラウンパレス浜松	35	浜松機械技術研究会
H27.7.7	県内企業見学会	焼津水産化学工業(株) はごろもフーズ(株)	15	浜松機械技術研究会
H27.7.24	基礎から学ぶマイコン/ARM_Cortex-Mプロセッサファミリ	アクトシティ浜松研修交流センター	34	(公財)浜松地域イノベーション推進機構 浜松商工会議所
H27.7.28	シーケンス制御実習会	浜松工業技術支援センター	10	浜松機械技術研究会
H27.8.27	五軸加工及びシミュレーション	浜松工業技術支援センター	45	浜松機械技術研究会
H27.9.2	シーケンス制御基礎と応用実習会	浜松工業技術支援センター	10	浜松機械技術研究会
H27.9.10	IoT時代に向けたセンサー活用術/センサー応用システムのアナログ設計技術	アクトシティ浜松研修交流センター	56	(公財)浜松地域イノベーション推進機構 浜松工業技術支援センター、浜松商工会議所
H27.9.14	MTシステム入門講座	浜松工業技術支援センター	12	浜松品質工学研究会
H27.9.18	中小・中堅企業の成長戦略～「強み」を伸ばして競争に勝つ!～	浜松工業技術支援センター	34	浜松センター協議会 浜松商工会議所
H27.10.2	表面処理における分析・評価技術セミナー	浜松工業技術支援センター	54	浜松鍍金工業協同組合 浜松表面技術研究会
H27.10.21	ノイズ対策セミナー	浜松工業技術支援センター	59	浜松センター協議会 浜松EMC研究会
H27.11.17 H27.11.27	幾何公差セミナー	浜松工業技術支援センター	31 31	浜松機械技術研究会
H27.11.26	音源探査セミナー	浜松工業技術支援センター	23	浜松センター協議会
H27.12.1	企業見学会	沼津技術専門校(技能五輪) (株)電業社機械製作所	17	浜松機械技術研究会
H27.12.2-1 2.4 H27.12.8-1 2.10	金属・樹脂部品等の材料解析セミナー	浜松工業技術支援センター	16 11	浜松センター協議会
H27.12.3	低周波EMCセミナー	浜松工業技術支援センター	44	浜松センター協議会 浜松EMC研究会
H28.1.22	航空機製品の信頼性評価技術セミナー	浜松工業技術支援センター	19	浜松センター協議会
H28.2.24- 2.26	わかりやすい音響・振動計測の基礎セミナー	浜松工業技術支援センター	52	浜松機械技術研究会 浜松センター協議会

年月日	件名	会場	参加人数	共催等
H28.2.24-2.26	JKA機器利用講習会「浜松工業技術支援センターでリニューアルした複合環境振動試験装置の概要及び活用方法について」	浜松工業技術支援センター	42	浜松センター協議会
H28.3.3	「今、知っておきたい三次元技術～計測・造形・検査～」セミナー	浜松工業技術支援センター	35	浜松センター協議会
H28.3.4	品質工学講演会	浜松工業技術支援センター	63	浜松品質工学研究会
H28.3.11	低コストFPGAでここまで出来る！ & DC/DC:周辺部品の選択方法とPCBレイアウト	アクトシティ浜松研修交流センター	52	(公財)浜松地域イノベーション推進機構 浜松商工会議所
H28.3.17	熱ストレスによる信頼性評価技術セミナー	浜松工業技術支援センター	40	浜松工業技術支援センター、浜松センター協議会
実施回数 31回			参加者数 1,086人	

(カ) 講師活動

a 工業技術研究所及び工業技術支援センターの合計

	活動回数	参加者数
工業技術研究所	26	945
沼津工業技術支援センター	4	168
富士工業技術支援センター	12	71
浜松工業技術支援センター	25	551
合計	67	1,735

b 工業技術研究所の実績

年月日	講習会等の名称	会場	参加者数	主催	講師氏名
H27.5.20	静岡県環境保全協会第44回定時総会	もくせい会館	90	静岡県環境保全協会	太田良和弘
H27.6.5	静岡県厨房設備業協会総会	クーポール会館	40	静岡県厨房設備業協会	杉山直人
H27.6.24	バイオマス情報交換会	静岡県産業経済会館	18	NPO法人バイオマス利活用ネットワーク	太田良和弘
H27.6.24	ユニバーサルデザイン・工芸研究会講習会	工業技術研究所	37	静岡県ユニバーサルデザイン・工芸研究会	多々良哲也 櫻川智史
H27.8.4	総合食品学講座 微生物検査技術	工業技術研究所	26	(公財)静岡県産業振興財団	渡瀬隆也 浅沼俊倫 松野正幸 池ヶ谷篤 袴田雅俊
H27.8.6	微生物検査技術		24		
H27.9.3	食品の機器分析実習 (GC, LC)		24		
H27.10.1	小型食品加工機器実習		9		
H27.10.6			12		
H27.8.28	第30回機器分析講座：「ICP発光分光分析法の基礎」	静岡理科大学	31	静岡理科大学 先端機器分析センター	岡本哲志
H27.9.13	コミカレ・ねっとわーく中部支部研修会	金谷公民館みんくる	60	コミカレ・ねっとわーく金谷	渡瀬隆也
H27.9.30	平成27年度中部公設試験研究機関研究者表彰受賞記念講演会	愛知県産業労働センターウインクあいち	30	(公財)中部科学技術センター	佐野禎彦
H27.10.2	静岡県ユニバーサルデザイン・工芸研究会 第2回講習会	工業技術研究所	17	静岡県ユニバーサルデザイン・工芸研究会	多々良哲也

年月日	講習会等の名称	会場	参加者数	主催	講師氏名
H27.10.23	食品関連研究施設見学並びセミナー(人間工学的観点からワーキング環境について)	工業技術研究所	30	静岡県厨房設備業協会	易 強
H27.10.27	静岡県バイオマス利活用セミナー	グランシップ	41	静岡県(NPO法人バイオマス利活用ネットワーク)	太田良和弘
H27.11.20	第1回使用者育成ワークショップ	工業技術研究所	14	工業技術研究所	多々良哲也
H27.11.20	中部イノベネット「産業技術の芽」シーズ発表会 in 名古屋	吹上ホール	50	(公財)中部科学技術センター	菊池圭祐
H27.11.24	光・色・音の環境(特別講師)	大手前大学	26	大手前大学	鈴木敬明
H27.12.2	静岡県バイオテクノロジー研究会企業発表会・講演会	静岡県男女共同参画センターあざれあ	35	静岡県バイオテクノロジー研究会	山下里恵
H27.12.7-8	介護・福祉分野 中堅・中小企業 育成・強化セミナー	岡山県国際交流センター	32	(一財)日本立地センター	多々良哲也
H27.12.18	日本色彩学会測色研究会研究発表会(パネリスト)	タワーホール船堀	60	日本色彩学会	豊田敏裕
H28.1.7	全学共通科目特別講義 静岡地域食材学B「静岡県の水産加工品(かつおぶし)」	静岡県立大学	70	静岡県立大学	渡瀬隆也
H28.1.9	県内企業技術研修会	焼津グランドホテル	30	県内企業	増井裕久
H28.2.19	第2回使用者育成ワークショップ	工業技術研究所	9	工業技術研究所	多々良哲也
H28.2.25	COMETセミナー2016	東京コンファレンスセンター品川	90	東京貿易テクノシステム(株)	志智 亘
H28.3.8	日本材料学会関東支部講演会	中央大学後楽園キャンパス	40	日本材料学会関東支部	櫻川智史
活動回数 26回			参加者数 945人		

c 沼津工業技術支援センターの実績

年月日	講習会等の名称	会場	参加者数	主催	講師氏名
H27.8.7	平成27年度第1回賀茂地域資源活用促進連絡会	下田総合庁舎	32	賀茂農林事務所	勝山 聡
H27.10.30	静岡県成長産業分野人材育成支援事業 幾何公差（実践活用編）	沼津工業技術支援センター	5	沼津技術専門校	鬼久保郁雄 本多正計 橘川義明
H27.12.5	「誉富士」セミナー イタリアに学ぶお酒の楽しみ方	グランシップ	102	静岡県 誉富士普及推進協議会	勝山 聡
H28.2.13	「誉富士」セミナー	小杉苑（藤枝市）	29	静岡県 誉富士普及推進協議会	勝山 聡
活動回数 4 回			参加者数 168 人		

d 富士工業技術支援センターの実績

年月日	講習会等の名称	会場	参加者数	主催	講師氏名
H27.10.6	中小企業技術者研修(製紙工学課程・中期)	富士工業技術支援センター	18	静岡県紙パルプ技術協会	深沢博之
H28.2.22	中小企業技術者研修(製紙工学課程・短期)		30		
H28.3.2	ふじのくにCNFフォーラムCNF技術者研修（実習）	富士工業技術支援センター	1	ふじのくにCNFフォーラム 富士センター協議会	木野浩成 深沢博之 齊藤和明 齊藤将人 山口智久
H28.3.3			1		
H28.3.4			2		
H28.3.8			3		
H28.3.9			3		
H28.3.10			3		
H28.3.14			2		
H28.3.15			4		
H28.3.16			2		
H28.3.18	2				
活動回数 12 回			参加者数 71 人		

e 浜松工業技術支援センターの実績

年月日	講習会等の名称	会場	参加者数	主催	講師氏名
H27.4.20	ウルトラハイテン事業化研究会技術セミナー	ホテルクラウンパレス浜松	50	(公財)浜松地域イノベーション推進機構	長津義之
H27.5.18	塑性加工学会プロセス・トライボロジー分科会第144回研究会	岐阜大学	20	塑性加工学会プロセス・トライボロジー分科会	鷺坂芳弘
H27.5.25	課題研究	浜松工業高等学校	6	浜松工業高等学校	田光伸也
H27.5.29	レポート作成スキルアップ講座	県内企業	21	浜松工業技術支援センター	吉岡正行
H27.6.26	(公社)精密工学会切削加工専門委員会第6回定例委員会	東京電機大学千住キャンパス	36	(公社)精密工学会切削加工専門委員会	是永宗祐
H27.7.3	第35回サマーセミナー	工学院大学	40	(一社)表面技術協会 ライトメタル部会	田光伸也
H27.7.14	製造中核人材育成講座(鍛造)	浜松工業技術支援センター	46	(公財)浜松地域イノベーション推進機構	鷺坂芳弘
	製造中核人材育成講座(材料)				伊藤芳典
H27.7.16	生産加工研究会第54回研究会	豊橋技術科学大学	26	生産加工研究会	是永宗祐
H27.8.17	(一社)日本トライボロジー学会第3種研究会「エコマシニングとトライボロジー」第35回研究会	名古屋工業大学	36	(一社)日本トライボロジー学会第3種研究会「エコマシニングとトライボロジー」	是永宗祐
H27.9.3	成長分野在職者訓練3D-CAD&3Dプリンタ活用	浜松工業技術支援センター	10	浜松技術専門校	伊藤芳典
H27.9.14	MTシステム入門講座	浜松工業技術支援センター	12	浜松品質工学研究会	針幸達也
H27.9.18	3Dプリンタ研修会	浜松工業技術支援センター	16	浜松工業技術支援センター	伊藤芳典
H27.10.8-10.9 10.15-10.16 11.5-11.6	レーザー中核人材育成講座実習	浜松工業技術支援センター	25	光産業創成大学院大学	鷺坂芳弘 山下清光 上野貴康 中野雅晴
H27.10.15	成長分野在職者訓練3D-CAD&3Dプリンタ活用	浜松工業技術支援センター	6	浜松技術専門校	伊藤芳典
H27.10.28	成長分野在職者訓練TIG溶接	浜松工業技術支援センター	10	浜松技術専門校	伊藤芳典
H27.10.29	成長分野在職者訓練チタン	浜松技術専門校	14	浜松技術専門校	是永宗祐
H27.11.24	地域創成フォーラム	ホテルクラウンパレス浜松	40	静岡理工科大学、(公財)浜松地域イノベーション推進機構	中野雅晴

年月日	講習会等の名称	会場	参加者数	主催	講師氏名
H28.1.6	(研究発表用)ポスター作成スキルアップ講座	浜松工業高校	12	浜松工業高校	吉岡正行
H28.1.18	(一社)日本塑性加工学会 プロセス・トライボロジー分科会 第146回研究会	テイボー(株)	22	(一社)日本塑性加工学会 プロセス・トライボロジー分科会	伊藤芳典
H28.1.26	第12回浜松地域CFRP事業化研究会	呉竹荘	30	(公財)浜松地域イノベーション推進機構	鈴木一之 山崎利樹
H28.2.1	センター業務PR講習会	湖西市商工会館	30	湖西市商工会	吉岡正行
H28.3.3	「今、知っておきたい三次元技術～計測・造形・検査～」セミナー	浜松工業技術支援センター	35	浜松工業技術支援センター	伊藤芳典
H28.3.24	企業社内セミナー	県内企業	8	県内企業	針幸達也
活動回数 25回			参加者数 551人		

(キ) 委員派遣

a 工業技術研究所及び工業技術支援センターの実績合計

	派遣回数	延べ派遣者数
工業技術研究所	116	125
沼津工業技術支援センター	23	33
富士工業技術支援センター	36	38
浜松工業技術支援センター	71	77
合計	246	273

b 工業技術研究所の実績

年月日	委員会等の名称	会場	主催	派遣者氏名
H27.4.1～ H28.3.31	静岡県立大学連携大学院客員准教授	静岡県立大学	静岡県立大学	櫻川智史
H27.4.1～ H28.3.31	静岡県立大学連携大学院客員准教授	静岡県立大学	静岡県立大学	鈴木敬明
H27.4.1～ H27.9.30	静岡大学客員教授	静岡大学 工業技術研究所	静岡大学	櫻川智史
H27.4.15	静岡県開発型企業研究会総会	グランドホテル中島屋	(公財)静岡県産業振興財団	佐藤廣美
H27.4.20	総合食品学講座に係る事業推進委員会	静岡県立大学	(公財)静岡県産業振興財団	杉山直人 佐野禎彦
H27.4.22	事業化推進協議会	静岡県産業経済会館	(公財)静岡県産業振興財団	田中 進
H27.4.22	しみず新事業創出研究会	静岡商工会議所清水支所	静岡商工会議所しみず新事業創出研究会	佐藤廣美
H27.4.28 H27.9.11	食品等開発研究会	静岡県産業経済会館	(公財)静岡県産業振興財団	松野正幸 渡瀬隆也 松野正幸
H27.5.13	第12回広域連携医療ネットワークシステム研究会 25年問題に向けた医療・福祉・介護	東海大学伊勢原キャンパス	広域連携医療ネットワークシステム研究会	佐藤廣美 小松 剛



年月日	委員会等の名称	会 場	主 催	派遣者氏名	
H27.5.12	地域産業総合支援事業費補助金（経営革新事業）審査会	静岡県産業経済会館	静岡県	田中 進 望月一男	
H27.5.13					
H27.5.14					
H27.6.22				県庁	望月一男
H27.7.8					
H27.5.15	日本鑄造工学会東海支部企画委員会	愛知県産業労働センター	(公社)日本鑄造工学会	鈴木洋光	
H27.5.21	支援機関等連携促進会議	静岡県産業経済会館	(公財)静岡県産業振興財団	望月一男	
H27.5.25	食品等開発助成事業審査委員会	静岡県産業経済会館	(公財)静岡県産業振興財団	杉山直人	
H27.5.28	福祉・介護機器スタートアップ支援事業審査委員会	静岡県産業経済会館	(公財)静岡県産業振興財団	佐野禎彦	
H27.5.29	(一財)日本塗料検査協会評議員会	東京塗料会館	(一財)日本塗料検査協会	赤堀 篤	
H27.6.2	技能検定委員会	静岡県職業能力開発協会	静岡県職業能力開発協会	赤堀 篤	
H27.6.3	ものづくり・商業・サービス革新補助金 地域採択審査委員会	静岡県産業経済会館	静岡県中小企業団体中央会	田中 進	
H27.9.4					
H27.6.3	静岡県開発型企業研究会例会	静岡県産業経済会館	(公財)静岡県産業振興財団	佐藤廣美	
H27.8.5					
H27.9.2					
H27.10.7					
H27.11.4					
H27.12.4					
H27.6.3	静岡市産学共同研究委託事業審査会	静岡市産学交流センター	静岡市	望月一男	
H27.6.16					
H27.6.5	富士登山おしゃれヘルメットアイデアコンテスト審査委員会	地震防災センター	静岡県	田中 進	
H27.6.5	静岡エネルギー・環境懇談会 総会	ホテルアソシア静岡	静岡エネルギー・環境懇談会	田中 進	
H27.6.10	新成長産業戦略の育成事業「事業化推進助成事業」審査会	静岡県産業経済会館	(公財)静岡県産業振興財団	田中 進	
H27.6.11					
H27.7.8					

年月日	委員会等の名称	会 場	主 催	派遣者氏名
H26.6.10	経営革新計画研修会	工業技術研究所	静岡県	望月一男
H27.6.10	食品等開発研究会合同会議	CSA貸会議室山口駅前ビル	(公財)静岡県産業振興財団	渡瀬隆也
H27.6.15	プラスチック成形加工学会理事会	五反田文化会館	(一財)プラスチック成形加工学会	田村克浩
H27.6.18	静岡県環境放射能測定技術会	もくせい会館	静岡県環境放射能測定技術会	田中 進
H27.9.2				
H28.2.17		産業経済会館		
H27.7.4	技能検定試験(噴霧塗装)	県内企業	静岡県職業能力開発協会	赤堀 篤
H27.8.2	”(金属塗装)			
H27.7.6	商工会専門スタッフ研修会	静岡県産業経済会館	静岡県商工会連合会	望月一男
H27.7.8	サポイン研究推進委員会	(地独)大阪市立工業研究所	(公財)浜松地域イノベーション推進機構	田村克浩
H27.11.25		アクトシティコンプレックスセンター		
H28.1.21				
H27.7.8	環境健康科学特論	静岡県立大学	静岡県立大学	鈴木敬明
H27.7.15				櫻川智史
H27.7.8	JIS原案作成委員会	(一社)日本色彩学会事務局	(一社)日本色彩学会	豊田敏裕
H27.9.8				
H27.11.9				
H28.1.13				
H27.7.9	静岡市新商品等開発事業審査会	ツインメッセ静岡	静岡市	佐藤廣美
H27.7.10				
H27.7.13	静岡市地域産業活性化協議会	静岡市産学交流センター	静岡市	望月一男
H27.7.16	助成金コーディネート	県内企業(2社)	(公財)静岡県産業振興財団	佐藤廣美
H27.8.17		県内企業		
H27.10.30				
H28.1.21				
H28.3.18		県内企業		
H28.3.23				

年月日	委員会等の名称	会 場	主 催	派遣者氏名
H27.7.17	しみず新事業創出研究会	静岡商工会議所清水支所	静岡商工会議所しみず新事業創出研究会	佐藤廣美
H27.7.23	経営革新申請承認審査会	県庁	静岡県	佐藤廣美 佐野禎彦
H27.7.24 H27.11.13	マッチングプランナープログラム平成27年度採択課題事前評価	工業技術研究所	(国研)科学技術振興機構	杉山直人
H27.7.24 H27.10.19 H28.3.25	助成金コーディネート	県内企業	(公財)静岡県産業振興財団	望月一男
H27.7.24	健康産業雇用創造プロジェクト協議会	ホテルアソシア静岡	静岡県	杉山直人
H27.8.19	富士山静岡空港周辺地域産業活性化協議会	島田市役所	富士山静岡空港周辺地域産業活性化協議会	田中 進
H27.8.20 H27.10.29	2015グッドデザインしずおか審査会	県庁 工業技術研究所	静岡県	田中 進
H27.8.21	専門家による商品ブラッシュアップ相談会	静岡市産学交流センター	静岡市産学交流センター	田中 進
H27.9.3	プラスチック成形加工学会理事会	五反田文化会館	(一財)プラスチック成形加工学会	田村克浩
H27.9.17	サポイン実務者会議	(公財)浜松地域イノベーション推進機構	(公財)浜松地域イノベーション推進機構	田村克浩
H27.9.11	(一社)日本色彩学会理事会	(一社)日本色彩学会事務局	(一社)日本色彩学会	鈴木敬明
H27.9.15	静岡県科学技術振興表彰選考委員会	県庁	静岡県	田中 進
H27.9.15 H28.2.25	平成27年度環境技術実証事業 地球温暖化対策技術分野(照明用エネルギー低減技術)技術実証検討会	(一社)建材試験センター日本橋オフィス	(一社)建材試験センター	鈴木敬明
H27.9.15	静岡県科学技術振興表彰選考委員会	県庁	静岡県	田中 進
H27.10.2	ものづくり企業技術交流フェアへの専門家派遣	ホテルセンチュリー静岡	静岡県中小企業団体中央会	浅沼俊倫

年月日	委員会等の名称	会 場	主 催	派遣者氏名
H27.7.16	助成金コーディネート	県内企業	(公財)静岡県産業振興財団	佐野禎彦
H27.9.1		産業経済会館		
H27.10.19		県内企業		
H27.10.27				
H27.10.29				
H27.10.30				
H29.3.14				
H28.3.15				
H28.3.16				
H27.10.20	静岡県学生児童発明くふう展	静岡県産業経済会館	(一社)静岡県発明協会	櫻川智史
H27.10.21	福祉・介護機器チャレンジボックス製品ニーズ評価委員会	静岡県産業経済会館	(公財)静岡県産業振興財団	佐野禎彦
H27.10.30	日本木材学会中部支部評議員会	飛騨地域地場産業振興センター	日本木材学会中部支部	櫻川智史
H27.11.24	フーズ・サイエンスヒルズコーディネートタ連携会議	静岡県産業経済会館	(公財)静岡県産業振興財団	望月一男 佐野禎彦
H27.12.9	第25回日本MRS年次大会	横浜市開港記念会館	日本MRS	菊池圭祐
H27.12.17	プラスチック成形加工学会理事会	五反田文化会館	(一財)プラスチック成形加工学会	田村克浩
H28.3.2		東京工業大学		
H27.12.15	総合食品学講座カリキュラム検討部会	静岡県産業経済会館	(公財)静岡県産業振興財団	渡瀬隆也
H27.12.22	経営革新承認審査会	県庁	静岡県	望月一男
H28.2.5				佐野禎彦
H28.1.13	標準化活用支援パートナーシップ制度パートナー期間責任者会合	東海大学校友会館	経済産業省	田中 進 望月一男
H28.1.20	福祉・介護機器スタートアップ支援事業試作開発発表会	静岡県産業経済会館	(公財)静岡県産業振興財団	佐野禎彦
H28.1.20	福祉・介護機器チャレンジボックス製品ニーズ発表会	静岡県産業経済会館	(公財)静岡県産業振興財団	佐野禎彦
H28.1.27	第2回総合食品学講座事業推進委員会	静岡県産業経済会館	(公財)静岡県産業振興財団	杉山直人

年月日	委員会等の名称	会 場	主 催	派遣者氏名
H28.2.9 -2.10	創業者・中書企業研究開発 助成事業審査会	静岡県産業経済会館	(公財)静岡県産業 振興財団	田中 進
H28.2.12	新産業集積課事業推進委員 会	静岡県産業経済会館	静岡県	田中 進
H28.2.23	日本鑄造工学会東海支部静 岡地区鑄物技術講演会	グランシップ	(公社)日本鑄造工 学会	鈴木洋光
H28.2.24	静岡市福祉用具検討会	リハパーク静岡	静岡市	多々良哲也
H28.2.29	地域結集事業化推進協議会	静岡県産業経済会館	静岡県	望月一男
H28.3.9	ヒューマンファクターを考 慮した照明制御に関する特 別研究委員会	(一社)照明学会事務 局	(一社)照明学会	鈴木敬明
H28.3.16	事業化推進助成審査	静岡県産業経済会館	(公財)静岡県産業 振興財団	田中 進
H28.3.23	フーズ・サイエンスヒルズ リーディングアドバイザー 会議	静岡県立大学	(公財)静岡県産業 振興財団	望月一男
H28.3.24	百歳到達者の記念品選考委 員会	県庁	百歳到達者の記念 品選考委員会	櫻川智史
H28.3.27	日本木材学会中部支部総会	名古屋大学	日本木材学会中部 支部	櫻川智史
派遣回数 116回			派遣人数(延べ)	125人

c 沼津工業技術支援センターの実績

年月日	委員会等の名称	会 場	主 催	派遣者氏名
H27.4.6 H27.7.10	静岡県創業者育成施設使用 承認資格審査に係る事前ヒ アリング	沼津工業技術支援セ ンター	静岡県	八木淳一 望月建治
H27.4.23	静岡県創業者育成施設入居 審査委員会	県庁	静岡県	神谷義之
H27.5.25	静岡県誉富士普及推進協議 会幹事会	もくせい会館	静岡県誉富士普及 推進協議会	神谷義之
H27.7.30	沼津市地域資源活用開発支 援事業補助金交付企業内定 審査会	沼津市水道部会議室	沼津市	神谷義之
H27.7.30 H27.9.17 H28.1.28 H28.3.24	富士山麓先端健康産業集積 プロジェクト事業(新産 業・新事業シーズ創出事 業) 医用機器等開発テー マ実現化会議	静岡がんセンター研 究所	(公財)静岡県産業 振興財団ファルマ バレーセンター	本多正計 細野美奈子 本多正計

年月日	委員会等の名称	会 場	主 催	派遣者氏名
H27.8.21	静岡県東部地域産業活性化協議会会議	三島市民生涯学習センター	静岡県東部地域産業活性化協議会	神谷義之
H27.9.15	静岡県科学技術振興表彰選考委員会	県庁	静岡県	神谷義之
H27.9.25	平成27年度ぬまづ技能マイスター及びITマイスター認定審査会	沼津商工会議所	沼津商工会議所	神谷義之
H27.10.2	平成27年度名古屋国税局酒類鑑評会 品質評価会	名古屋第二国税総合庁舎	名古屋国税局	勝山 聡
H27.10.6, -10.7				天野祥吾
H28.1.20	静岡県創業者育成施設入居審査委員会	県庁	静岡県	神谷義之
H28.2.15	平成27事務年度全国市販酒類調査品質評価会	名古屋第二国税総合庁舎	名古屋国税局	天野祥吾
H28.2.16				勝山 聡
H28.3.8	新酒研究会 審査委員会	グランディエールブケ・トーカイ	静岡県杜氏研究会	勝山 聡 天野祥吾
H28.3.15	静岡県清酒鑑評会 審査委員会	沼津工業技術支援センター	静岡県酒造組合	神谷義之 勝山 聡 天野祥吾
H28.3.24	静岡県清酒鑑評会 表彰式	グランディエールブケ・トーカイ	静岡県酒造組合	神谷義之 勝山 聡 天野祥吾
H28.3.25	平成27酒造年度 新酒持ち寄り技術相談会品質評価会	名古屋第二国税総合庁舎	名古屋国税局	勝山 聡
H28.3.28	平成27年度ふじのくに先端医療総合特区地域協議会	静岡がんセンター研究所	ふじのくに先端医療総合特区地域協議会	神谷義之
H28.3.28	平成27年度富士山麓ファルマバレー戦略推進協議会	静岡がんセンター研究所	富士山麓ファルマバレー戦略推進協議会	神谷義之
派遣回数 23回			派遣人数(延べ)	33人

d 富士工業技術支援センターの実績

年月日	委員会等の名称	会 場	主 催	派遣者氏名
H27.4.8	富士地域再生家庭紙利用促進協議会全体会議	富士市役所	富士地域再生家庭紙利用促進協議会	神谷真好
H27.4.20	静岡県紙パルプ技術協会運営委員会	ホテルグランド富士	静岡県紙パルプ技術協会	神谷真好
H27.5.8		ふじさんめっせ		神谷真好
H27.7.23	岳南地域地下水利用対策協議会合同会議	富士市役所	岳南地域地下水利用対策協議会	三浦 清
H28.1.19				神谷真好
H27.5.11	静岡県紙パルプ技術協会理事会	ホテルグランド富士	静岡県紙パルプ技術協会	神谷真好
H27.12.15				
H28.3.16				
H27.5.13	富士山麓医療関連機器製造業者等交流会 運営会議	富士市役所	富士市	中山 洋
H27.6.23		富士市民活動センター		
H27.8.27				
H28.3.17				
H27.5.14	木材科学委員会	銀座松屋アネックス	紙パルプ技術協会	神谷真好
H27.5.26	古紙リサイクル対応協議会WG	日本印刷会館	(一社)日本印刷産業連合会	深沢博之 齊藤将人
H27.6.16				
H27.5.27	富士市工業振興会議	富士市役所	富士市	神谷真好
H27.7.30				
H27.6.17	機能紙研究会理事会	えきまえミヨシノ	機能紙研究会	神谷真好
H27.10.28		サンポートホール高松		
H27.6.29	富士山紙フェア実行委員会	富士商工会議所	富士山紙フェア実行委員会	神谷真好
H27.9.25				杉本芳邦
H27.12.22				三浦 清
H27.7.2	静岡県紙パルプ技術協会編集委員会	ホテルグランド富士	(一社)静岡県紙パルプ技術協会	神谷真好
H27.12.21				木野浩成
H28.3.2				神谷真好
H27.7.29	助成金コーディネート	県内企業	(公財)静岡県産業振興財団	三浦 清
H28.3.4				
H28.3.10				

年月日	委員会等の名称	会 場	主 催	派遣者氏名
H27.8.21	東部地域産業活性化協議会	三島市民生涯学習センター	静岡県	神谷真好
H27.9.15	科学技術振興表彰選考委員会	県庁	静岡県	神谷真好
H27.10.22 ----- H28.1.29	富士市立博物館協議会	富士市立博物館	富士市立博物館	神谷真好
H27.10.28-1 0.30	機能紙研究会	サンポートホール高松	機能紙研究会	深沢博之
H28.2.9 ----- H28.2.24	富士市産業経済問題懇話会	富士商工会議所	富士商工会議所	神谷真好
H28.3.28	ふじのくに先端医療総合特区地域協議会	静岡がんセンター研究所	静岡県	神谷真好
派遣回数 36回			派遣人数(延べ) 38人	



e 浜松工業技術支援センターの実績

年月日	委員会等の名称	会 場	主 催	派遣者氏名
H27.4.18	ハママツ・ファブリック・ パフォーマーズ(HFP)定例 会	浜松商工会議所	(一社)静岡県繊維 協会	鈴木一之
H27.5.19				
H27.6.16				
H27.7.21				
H27.9.15				
H27.10.20				
H27.11.17				
H27.4.21	(一社)電線総合技術センタ ー 電気用品適合性評価委 員会	(一財)電線総合技術 センター	(一社)電線総合技 術センター	松田 稔
H27.5.8				
H27.5.15				
H27.5.27				
H27.6.15				
H27.7.2				
H27.7.21				
H27.8.6				
H27.8.20				
H27.9.14				
H27.9.28				
H27.10.15				
H27.10.27				
H27.11.12				
H27.11.30				
H27.12.22				
H28.1.19				
H28.1.26				
H28.2.5				
H28.2.16				
H28.3.8				
H28.3.18				
H28.3.30				
H27.4.28	塑性加工学会編集委員会	塑性加工学会	塑性加工学会	鷲坂芳弘

年月日	委員会等の名称	会 場	主 催	派遣者氏名
H27.4.28	拠点事業ワーキング会議	浜松医科大学	浜松医科大学	山下清光
H27.5.9	鑄造工学会 東海支部 企画委員会	愛知県産業労働センター ウィンクあいち	(公社)鑄造工学会 東海支部	岩澤 秀
H27.5.19	浜松地域産業支援ネットワーク会議 幹事会	浜松商工会議所	浜松地域産業支援ネットワーク会議	吉岡正行
H27.5.22	H27基盤技術高度化支援事業 研究推進会議	アクトシティ浜松	(公財)浜松地域イノベーション推進機構	伊藤芳典
H27.5.25	はままつスタートアップ協議会	浜松商工会議所	(公財)浜松地域イノベーション推進機構 浜松市 浜松商工会議所	吉岡正行
H27.5.26	拠点事業 事業運営委員会	浜松商工会議所	浜松医科大学	山下清光
H28.3.23				
H27.5.26	平成27年度先端精密技術研究会幹事会・総会	ホテルヴィラくればけ	先端精密技術研究会	長澤 正
H27.6.2	浜松地域産業支援ネットワーク会議 幹事会	浜松商工会議所	浜松地域産業支援ネットワーク会議	吉岡正行
H27.6.9	はままつ知財研究会総会	アクトシティ浜松	(公財)浜松地域イノベーション推進機構	杉山 治
H27.6.17	レーザーものづくり中核人材育成講座第1回企画運営委員会	TKP浜松アクトタワーコンファレンスセンターミーティングルーム	光産業創成大学院大学	植田浩安
H27.6.18	光・電子技術関連産業支援員重点支援企業審査会	浜松工業技術支援センター	静岡県	杉山 治 田中孝彦 植田浩安 河合敏昭
H27.7.1	浜松市新産業創出事業費補助事業二次審査会	浜松市役所	浜松市	杉山 治
H27.7.2	塑性加工学会編集委員会	塑性加工学会	塑性加工学会	鷺坂芳弘
H27.7.2	モータードライブ応用研究会 総会	ホテルクラウンパレス	静岡理科大学	吉岡正行
H27.7.6	医工連携スタートアップ支援事業審査委員	遠鉄駅前貸会議室	はままつ次世代光・健康医療産業創出拠点	田中孝彦
H27.7.23	静岡県創業者育成施設入居審査委員会	県庁	静岡県	杉山 治

年月日	委員会等の名称	会 場	主 催	派遣者氏名
H27.7.29	光・電子技術関連産業支援 員重点支援企業審査会	浜松工業技術支援セ ンター	静岡県	杉山 治 田中孝彦 植田浩安 河合敏昭
H27.8.26	戦略的基盤技術高度化支援 事業 研究実務者会議	静岡大学	(公財)浜松地域イ ノベーション推進 機構	伊藤芳典
H27.8.27		県内企業		
H27.11.2		静岡大学		
H27.12.16		県内企業		
H27.8.26	戦略的基盤技術高度化支援 事業 研究実務者会議	静岡文化芸術大学	(公財)浜松地域イ ノベーション推進 機構	伊藤芳典
H27.10.2		アクトシティ浜松		
H28.1.29		静岡文化芸術大学		
H28.3.8		県内企業		
H27.9.8	拠点事業ワーキング会議	浜松医科大学	浜松医科大学	山下清光
H27.11.24				
H28.1.12				
H28.3.8				
H27.8.21	塑性加工学会編集委員会	塑性加工学会	塑性加工学会	鷺坂芳弘
H27.11.11				
H28.1.7				
H28.2.29				
H28.3.31				
H28.1.21	製造中核人材育成事業推進 委員会	(公財)浜松地域イノ ベーション推進機構	(公財)浜松地域イ ノベーション推進 機構	伊藤芳典
H28.2.10	平成27年度先端精密技術研 究会幹事会	浜松商工会議所	先端精密技術研究 会	長澤 正
H28.3.1	レーザーものづくり中核人 材育成講座第2-3回企画運 営委員会	アクトシティ浜松	光産業創成大学院 大学	鷺坂芳弘
H28.3.25		県内企業		
H28.3.3	医工連携スタートアップ支 援事業評価委員	アクトシティ浜松	はままつ次世代 光・健康医療産業 創出拠点	田中孝彦
派遣回数 71 回			派遣人数(延べ) 77 人	

(ク) 産業技術連携推進会議等への派遣

a 工業技術研究所及び工業技術支援センターの実績合計

	派遣回数	延べ派遣者数
工業技術研究所	31	49
沼津工業技術支援センター	4	4
富士工業技術支援センター	6	11
浜松工業技術支援センター	14	30
合計	55	95

b 工業技術研究所の実績

年月日	会議等の名称	会場	主催	派遣者氏名
H27.6.24	産技連 製造プロセス部会 3Dものづくり特別分科会・関東甲信越静地域部会 3Dプリンタ研究会	産総研臨海副都心センター/ (地独)東京都立産業技術研究センター	産技連 製造プロセス部会 産技連 関東甲信越静地域部会 (地独)東京都立産業技術研究センター 産総研	柳原 亘
H27.6.11-12	産技連 ライフサイエンス部会 デザイン分科会	京都府中小企業技術センター	産技連 ライフサイエンス部会 デザイン分科会	易 強 小松 剛
H27.10.29-30		ホテルポートプラザ ちば		多々良哲也 村松 重緒
H27.6.16	首都圏公設試連携推進会議 /MTEP事務局会議	横浜市工業技術支援センター	首都圏テクノナレッジ・フリーウェイ(TKF)/広域首都圏輸出製品技術支援センター(MTEP)	田中 進 志田英士
H27.8.28		埼玉県産業技術総合センター		望月一男
H27.11.6		ちば仕事ぷらざ		田中 進 志田英士
H27.7.13	産技連 東海北陸地域産技連 東海・北陸地域部会総会 合同会議	愛知県産業労働センターウインクあいち	東海北陸地域産技連、東海・北陸地域部会	田中 進
H27.7.29	中部イノベネット窓口担当 コーディネータ会議	名古屋ダイヤビルディング	中部イノベネット	望月一男
H28.2.26		ミッドランドホール		
H27.8.25	産総研戦略予算プロジェクト「3Dスキャナと3Dプリンタの連携によるクローズドループエンジニアリングの実証」研究会	(地独)東京都立産業技術研究センター	産総研 計量標準総合センター 工学計測標準研究部門	柳原 亘
H28.3.3-4		産総研		

年月日	会議等の名称	会 場	主 催	派遣者氏名
H27.8.27 H28.3.18	産技連 東海・北陸地域部 会機械・金属分科会 シン クロトロン光利用研究会	あいち産業科学総合 センター	産総研	綿野哲寛
H27.10.15 -16	産技連 ナノテクノロジ ー・材料部会 第9回木質 科学分科会	静岡商工会議所 県内企業	産技連 ナノテク ノロジー・材料部 会 木質科学分科 会	田中 進 佐野禎彦 櫻川智史 赤堀篤 山下里恵 藤浪健二郎 渡邊雅之 菊池圭祐 前田研司 内山辰彦
H27.10.22 -23	産技連 ナノテクノロジ ー・材料部会 高分子分科 会	金沢都ホテル	産技連 ナノテク ノロジー・材料部 会 高分子分科会	菅野尚子
H27.10.23	全国公立鋳工業試験研究機 関長協議会第1回海外展開 支援分科会	(地独)東京都立産業 技術研究センター	全国公立鋳工業試 験研究機関長協議 会	田中 進 望月一男 志田英士
H27.10.29 -30	産技連 東海・北陸地域部 会 物質・エネルギー・環 境分科会	名古屋市工業研究所	産技連 東海・北 陸地域部会 物 質・エネルギー・ 環境分科会	大竹正寿
H27.11.5	全国食品技術研究会	つくば国際会議場	(国研)農業・食品 産業技術総合研究 機構 食品総合研 究所	淺沼俊倫
H27.11.10 -11	産技連 関東甲信越静岡地域 部会&地域産技連合同会	ホテルメトロポリン タン高崎	産技連 関東甲信 越静岡地域部会	田中 進
H27.11.12	上信越静岡公設研ネット	長野県工業技術総合 センター	上信越静岡公設研 ネット	田中 進 望月一男
H27.11.19 -20	産技連 知的基盤部会 計測分科会	八戸プラザホテル / 民間企業	産技連 知的基盤 部会	柳原 亘
H27.12.14	MTEP-RoHSパートナーグル ープ担当者会議	(地独)東京都立産業 技術研究センター	(地独)東京都立産 業技術研究センタ ー	岡本哲志
H28.1.15	デジタルものづくり分野か ら広がる新しい製造加工技 術とそれに伴う公設試の役 割に関する研究会	あいち産業科学技術 総合センター	中部経済産業局産 業技術課 産技連 東海北陸 地域産業技術推進 会議(東海・北陸 地域部会)	鈴木敬明 小松 剛
H28.2.15 -2.16		富山県工業技術セン ター/福井県工業技術 センター		易 強
H28.3.10		名古屋市工業研究所		村松重緒

年月日	会議等の名称	会 場	主 催	派遣者氏名
H28.1.29	MTEP運営委員会	(地独)東京都立産業技術研究センター	MTEP	田中 進 望月一男 志田英士
H28.2.2-3	産技連 食品・バイオ分科会	産総研	産総研	袴田雅俊
H28.2.5-6	産技連 製造プロセス部会	産総研	産技連 製造プロセス部会	望月一男
H28.2.18	全国食品関係試験研究場所長会	つくば国際会議場	全国食品関係試験研究場所長会	松野正幸
H28.2.18-19	食品試験研究推進会議	つくば国際会議場	(国研)農業・食品産業技術総合研究機構 食品総合研究所	松野正幸
H28.2.26	産技連 総会	トラストシティ カンファレンス・丸の内	産総研 イノベーション推進本部 地域連携推進部	田中 進
派遣回数 31回			派遣人数(延べ) 49人	

注) 産技連：産業技術連携推進会議  
産総研：(国研)産業技術総合研究所  
MTEP：広域首都圏輸出製品技術支援センター

c 沼津工業技術支援センターの実績

年月日	会議等の名称	会 場	主 催	派遣者氏名
H27.7.13	産技連 東海北陸地域産技連 東海・北陸地域部会総会 合同会議	愛知県産業労働センターウインクあいち	東海北陸地域産技連、東海・北陸地域部会	神谷義之
H27.11.10	産技連 関東甲信越静岡地域部会 & 地域産技連合同会	ホテルメトロポリタン高崎	関東経済産業局 地域経済部・産総研 イノベーション推進本部 地域連携推進部	神谷義之
H28.2.2	産技連 関東甲信越静岡地域部会 食品・バイオ部会	産総研	産技連 関東甲信越静岡地域部会 食品・バイオ部会	太田俊也
H28.2.26	産技連 総会	トラストシティ カンファレンス・丸の内	産総研 イノベーション推進本部 地域連携推進部	神谷義之
派遣回数 4回			派遣人数(延べ) 4人	

d 富士工業技術支援センターの実績

年月日	会議等の名称	会 場	主 催	派遣者氏名
H27.7.13	産技連 東海北陸地域産技連 東海・北陸地域部会総会 合同会議	愛知県産業労働センターウインクあいち	産技連 東海北陸地域産技連、東海・北陸地域部会	神谷真好
H27.9.30	中部公設試験研究機関 機関長会	愛知県産業労働センターウインクあいち	(公財)中部科学技術センター	神谷真好
H27.11.26 -27	産技連 紙パルプ分科会	愛媛県紙産業技術センター	産技連 紙パルプ分科会	神谷真好 木野浩成 深沢博之 森上明彦
H27.12.2 -3	産技連 紙パルプ分科会若手研究員研修会	岐阜県産業技術センター	産技連 紙パルプ分科会	齊藤将人 山口智久
H28.3.14 -15	産技連 紙パルプ分科会 ナノセルロース研究会	産総研中国センター	産技連 紙パルプ分科会 ナノセルロース研究会	深沢博之 齊藤将人
H28.2.26	産技連 総会	トラストシティ カンファレンス・丸の内	産総研 イノベーション推進本部 地域連携推進部	神谷 真好
派遣回数 6 回			派遣人数(延べ) 11 人	

e 浜松工業技術支援センターの実績

年月日	会議等の名称	会 場	主 催	派遣者氏名
H27.5.7	産技連 ナノテクノロジー・材料部会 繊維分科会 東海地域連絡会 総会	あいち産業科学技術総合センター尾張繊維技術センター	産技連 ナノテクノロジー・材料部会 繊維分科会東海地域連絡会	鈴木一之 鈴木悠介
H27.6.24	産技連 製造プロセス部会 第1回 3Dものづくり特別分科会・関東甲信越静地域部会 3Dプリンタ研究会	産総研 臨海副都心センター (地独)東京都立産業技術研究センター	産技連 製造プロセス部会 産技連 関東甲信越静地域部会 (地独) 東京都立産業技術研究センター 産総研	大澤洋文
H27.7.2-3	上信越静公設研ネット 中堅・若手技術職員交流会	浜松工業技術支援センター 民間企業	上信越静公設研ネット	杉山 治 田中孝彦 伊藤芳典 長澤 正 長津義之 田光伸也 植松俊明 大澤洋文 是永宗祐 田中宏樹

年月日	会議等の名称	会 場	主 催	派遣者氏名
H27.7.9-10	公立鉦工業試験研究機関長協議会総会	くにびきメッセ 民間企業	公立鉦工業試験研究機関長協議会	杉山 治
H27.7.13	産技連 東海北陸地域産技連 東海・北陸地域部会総会 合同会議	愛知県産業労働センターウインクあいち	中部経済産業局及び産総研中部センター	杉山 治
H27.8.25	産総研戦略プロジェクト「3Dスキャナと3Dプリンタの連携によるクローズドループエンジニアリングの実証」研究会委員	(地独)東京都立産業技術研究センター	産総研計量標準総合センター	大澤洋文
H28.3.3-3.4		産総研つくばセンター		
H27.11.12-11.13	産技連 知的基盤部会第20回電磁環境分科会及び第25回EMC研究会	あいち産業科学技術総合センター	産技連 知的基盤部会 電磁環境分科会	杉森正康 山田浩文
H27.12.3-4	産技連ナノテクノロジー・材料部会 繊維分科会 繊維技術研究会	あいち産業科学技術総合センター尾張繊維技術センター	産技連 ナノテクノロジー・材料部会 繊維分科会	鈴木一之 鈴木悠介 森田達弥
H28.1.15	デジタルものづくり分野から広がる新しい製造加工技術とそれに伴う公設試の役割に関する研究会	あいち産業科学技術総合センター	中部経済産業局	伊藤芳典
H28.2.15-16		富山県工業技術センター, 福井県工業技術センター		是永宗佑 大澤洋文
H28.3.10		名古屋市工業研究所		伊藤芳典 是永宗佑 大澤洋文
H28.2.26	産技連総会	トラストシティ カンファレンス・丸の内	産総研 イノベーション推進本部 地域連携推進部	杉山 治
H28.3.11	産技連知的基盤部会電磁環境分科会第13回関東甲信越静岡EMC研究交流会及びMTEPパートナーシップグループ会	神奈川県産業技術センター	産技連知的基盤部会電磁環境分科会	山田浩文
派遣回数 14 回			派遣人数(延べ) 30人	



(ケ) 学会等への発表、外部発行誌等への投稿及び展示会への出展

a 工業技術研究所及び工業技術支援センターの実績合計

	学会等発表 回数 (ポスター 発表含む)	学会誌 等投稿	一般誌 投稿	展示会 出展
工業技術研究所	22	11	1	8
沼津工業技術 支援センター	11	4	1	10
富士工業技術 支援センター	1	1	5	3
浜松工業技術 支援センター	10	3	1	7
合計	44	19	8	28

b 工業技術研究所の実績 ( はポスター発表)

年月日	項 目	発 表 会 名	発表刊行物	発表者名
学会等への発表				
H27.4.28	JCAモデルの非音響パラメータを決定するための様々な取り組み方	日本音響学会建築音響研究会	建築音響研究会資料 AA2015-12	木野直樹
H27.5.21	Influence of spectral component of white light on the discomfort glare. - Contribution of image and non-image forming pathways -	International Colour Association 2015		豊田敏裕 鈴木敬明
H27.5.30-31	観察・生体計測記録に基づく運動評価支援システムのユーザビリティ評価	HCD-Netフォーラム2015		易 強
H28.6.29	Preliminary Study on the Source Size-Effect in the Integrating Sphere-Based Total Luminous Flux Measurement of OLED Panels	28th CIE SESSION		鈴木敬明(共著者) 他

学会等への発表				
H27.7.2	Self-Contained Lighting System using LED Lighting with Dimming Control, Diffusion Skylights, and Energy Storage of Solar Power	28th CIE SESSION	-	鈴木敬明 船井 孝 豊田敏裕
H27.7.8	Applying Activated Carbon Derived from Spent Coffee Grounds to Electric Double Layer Capacitors as Electrodes and Its Energy Regeneration Performance	7 <sup>th</sup> International Conference on Green and Sustainable Chemistry 4 <sup>th</sup> JACI/GSC Symposium	-	菊池圭祐
H27.7.30	Fe-Moめっき浴中における錯形成状態の分析	第18回XAFS討論会	-	綿野哲寛
H27.8.25	Suitable Operation of an Energy Generation System with Methane Fermentation	Asia Pacific Clean Energy Summit and Expo2015		大竹正寿
H27.9.16	生体力学シミュレーションの精度検証を目的としたマットレス変形量測定手法の開発	日本機械学会2015年度年次大会		船井 孝 鈴木敬明
H27.9.17	Estimating mattress deformation with a person in the supine position using biomechanical simulation	AP Biotech 2015		船井 孝 鈴木敬明
H27.9.18	医療現場に有効な緑茶蒸留液の開発と効果の検証	シーズ&ニーズビジネスマッチング研究発表会		池ヶ谷篤
H27.9.18	メタン発酵のための油分の前処理	シーズ&ニーズビジネスマッチング研究発表会		中島大介
H27.9.29	食品廃棄物からエネルギーと肥料をつくる！	静岡県立大学USフォーラム		室伏敬太
H27.9.29	木材の乾燥負圧を利用した薬剤注入法	日本木材加工技術協会第33回年次大会		藤浪健二郎 赤堀 篤 渡邊雅之 櫻川智史

学会等への発表				
H27.10.30	針葉樹材向け高硬度塗料の性能評価	2015年度日本木材学会 中部支部大会		渡邊雅之 赤堀 篤 藤浪健二郎 櫻川智史
H27.10.31	浴室手摺色応用のための探索 応答時間と一対比較選択率に基づく色視認性評価	第57回日本産業・労働・交通眼科学会		鈴木敬明、豊田敏裕（共著者） 他
H27.11.24	食品廃棄物からエネルギーと肥料をつくる！	静岡理科大学 地域創生フォーラム		太田良和弘
H27.12.17	お茶の実オイルで新製品開発	静岡食品環境フォーラム		渡瀬隆也
H28.1.20	メタン発酵効率化のための食品廃棄物前処理法の開発 - 油脂分解微生物の探索 -	日本エネルギー学会 バイオマス部会 第11回バイオマス科学会議		室伏敬太
H28.3.9	多孔質材料中の計測した音速とJCAモデルの予測値の比較	日本音響学会2016年春季研究発表会		木野直樹
H28.3.14	茶の含水率と水分活性の関係	第31回茶学術研究会		渡瀬隆也
H28.3.17	オクシズヒノキ材を用いた木質調音パネルの開発	静岡市産学交流センターB-nest 平成27年度産学共同研究成果発表会		油上 保
学会誌及び専門誌への投稿				
H27.4.30	Estimation Method and Simulation of Brightness of Monochromatic LED Point Source Perceived by the Elderly and Protanopes	-	Journal of Light & Visual Environment	鈴木敬明
H27.5.10	コーヒーかすで電気をためる	-	環境管理	菊池圭祐
H27.5.21	Influence of spectral component of white light on the discomfort glare. - Contribution of image and non-image for ming pathways -	-	Proceedings of the International Colour Association 2015	豊田敏裕 鈴木敬明

学会誌及び専門誌への投稿				
H27.6.28	Self-Contained Lighting System using LED Lighting with Dimming Control, Diffusion Skylights, and Energy Storage of Solar Power	-	Proceedings of 28th CIE Session 2015	鈴木敬明 船井孝 豊田敏裕
H27.6.28	Preliminary Study on the Source Size-Effect in the Integrating Sphere-Based Total Luminous Flux Measurement of OLED Panels	-	Proceedings of 28th CIE Session 2015	鈴木敬明 他 (共著者)
H27.9.1	Further investigations of empirical improvements to the Johnson- Champoux- Allard model	-	Applied Acoustics	木野直樹
H27.9.1	木材の接触温冷感		木材工業 70(9), 376-381 (2015)	櫻川智史
H27.10.1	観察・生体計測記録に基づく運動評価支援システムのユーザビリティ評価		人間中心設計推進機構・機構誌第11巻第1号p11-16	易 強
H27.12.4	Double Layer Properties and Impedance Characteristics of Uniformly-sized Microporous Carbon from Spent Coffee Grounds		Trans. Mat. Res. Soc. Japan, 40(4), 319-324 (2015)	菊池圭祐 山下里恵 櫻川智史
H28.3.1	Study on Evaluation of LED Lighting Glare in Pedestrian Zones		Journal of Light & Visual Environment	豊田敏裕(共著者) 他
H28.3.31	軽度要介護者の足こぎ車いすによる足こぎ運動が歩行能力の低下抑制に与える効果	-	労働科学 90 巻, 6号	佐野禎彦 多々良哲也 易 強

一般誌等への投稿				
H28.1.25	現場洗浄と乳酸菌添加による醤油中不揮発性アミンの低減	-	醤油の研究と技術	袴田雅俊
展示会への出展				
H27.6.9	”森林の都”を実現する県産材の需要と供給の拡大のための技術開発	シズオカKAGUメッセ2015		赤堀 篤 藤波健二郎 渡邊雅之 櫻川智史
H27.10.20	”森林の都”を実現する県産材の需要と供給の拡大のための技術開発	第52回全国林材業労働災害防止大会		赤堀篤 藤波健二郎 渡邊雅之
H27.11.19 -20	ヒノキ・スギ『木質調音パネル』	ジャパンホームショー		油上 保
H27.11.21 -23	コーヒー残渣から作った活性炭に蓄電（コーヒーのカスで電気を貯める技術）	おもしろ科学館2015 in みずなみ		菊池圭祐 前田研司 櫻川智史
H27.12.17	”森林の都”を実現する県産材の需要と供給の拡大のための技術開発	静岡食品環境フォーラム		赤堀 篤 藤波健二郎 渡邊雅之 櫻川智史
H28.2.2	食品開発に役立つ機器・設備の御紹介	ふじのくに総合食品開発		杉山直人 渡瀬隆也
H28.2.10	ヒノキ・スギ『木質調音パネル』	森林の都しずおか物語ショー		油上 保
H28.3.2 -4	コーヒー残渣から作った活性炭に蓄電（コーヒーのカスで電気を貯める技術）	第6回国際スマートグリッド EXPO		菊池圭祐 櫻川智史
合計件数 42 件		学会等発表 22 件・投稿等 12 件・展示会 8 件		

c 沼津工業技術支援センターの実績（ はポスター発表）

年月日	項 目	発 表 会 名	発表刊行物	発表者名
学会等への発表				
H27.6.9	Pilot study of a soft metal hydride actuator for a wearable rehabilitation system	World Congress on Medical Physics and Biomedical Engineering		細野美奈子
H27.8.27	Application of Metal Hydride Paper to Simple Pressure Generator for Use in Soft Actuator Systems	37th Annual International Conference of the IEEE Engineering in Medicine and Biology Society		細野美奈子
H27.8.29	乳酸菌発酵食品の乳酸菌選択的菌叢解析の効率化	日本食品科学工学会第62回大会		高木啓詞
H27.9.2	便座からの立ち上がり動作に関する実験的検討	ヒューマンインタフェースシンポジウム2015		細野美奈子
H27.9.9	振動刺激による運動錯覚における右手手関節の伸展速度の制御	第20回日本バーチャルリアリティ学大会		本多正計
H27.9.9	手関節の3つの腱に生じる運動錯覚の鮮明さの相違	第20回日本バーチャルリアリティ学大会		本多正計
H27.9.18	PCR-DGGE法を応用した高精度な乳酸菌選択的菌叢解析	シーズ&ニーズビジネスマッチング研究発表会		高木啓詞
H27.9.29	発酵食品中の乳酸菌が気になる	静岡県立大学USフォーラム2015		高木啓詞
H27.10.22	河津桜から分離した酵母の清酒醸造特性	第60回全国酒造技術指導機関合同会議ポスターセッション		勝山 聡
H27.11.23-25	A Study of Optimum Condition for Inducing Kinesthetic Illusion	2015 International Annual Symposium on Micro-Nano Mechatronics and Human Science (MHS2015)		本多正計
H28.2.2	河津桜から分離した清酒用酵母の開発	ふじのくに総合食品開発展		勝山 聡
学会誌及び専門誌への投稿				
H27.4.1	静岡県発 フードイノベーション 静岡県工業技術研究所 沼津工業技術支援センターバイオ科の取り組み		FOOD STYLE 21	太田俊也
H27.4.10	水素吸蔵合金アクチュエータの開発、ロボット分野への応用の可能性、その技術課題		パワーアシスト・ロボットに関する材料、電子機器、制御と実用化、その最新技術	細野美奈子

学会誌及び専門誌への投稿				
H27.6.3	Dynamic performance analysis of a micro cantilever embedded in elastomer		Journal of Micromechanics and Microengineering	細野美奈子
H27.11.1	Moisture sensor based on heat transfer possessing insusceptibility to coating materials on skin		Sensors and Actuators A: Phisical	細野美奈子
一般誌等への投稿				
H27.7.1	ファルマバレープロジェクトを推進する医療・介護用機器の開発		CSTC NEWS 214夏号	八木淳一
展示会への出展				
H27.11.13-14	静岡県発！河津桜から清酒用酵母	平成27年度農林水産祭実りのフェスティバル 都道府県技術・経営普及展		勝山 聡
H27.11.20	河津桜から分離した酵母の清酒醸造特性	御殿場・裾野ビジネス交流会		勝山 聡
H27.11.24	静岡県発！河津桜から分離した清酒醸造用酵母を開発	静岡理工科大学 地域創成フォーラム		勝山 聡
H27.12.3	PCR-DGGE法を応用した高精度な乳酸菌選択的菌叢解析	東部テクノフォーラム in 沼津高専		高木啓詞
H27.12.11	PCR-DGGE法を応用した高精度な乳酸菌選択的菌叢解析	富士山麓アカデミック & サイエンスフェア 2015		高木啓詞
H27.12.17	河津桜から分離した酵母の清酒醸造特性	静岡食品環境フォーラム		バイオ科
H28.2.2	食の都しずおかの微生物を用いた新しい発酵食品ビジネスの創出	ふじのくに総合食品開発展		勝山 聡
H28.2.4	手術支援ロボットの要素技術の研究開発	富士山麓産学官金連携フォーラム		機械電子科
H28.2.4	食の都しずおかの微生物を用いた新しい発酵食品ビジネスの創出	富士山麓産学官金連携フォーラム		バイオ科
H28.2.20-21	静岡県発！河津桜から分離した清酒醸造用酵母を開発	ふじのくに食の都の祭典		バイオ科
合計件数 26 件		学会等発表 11 件・投稿等 5 件・展示会 10 件		

d 富士工業技術支援センターの実績（ はポスター発表）

年月日	項 目	発 表 会 名	発表刊行物	発表者名
学会等への発表				
H28.3.22	セルロースナノファイバーに関する富士工業技術支援センターの取り組み	Nanocellulose Symposium 2016		木野浩成
学会誌及び専門誌への投稿				
H27.12.1	大学・官公庁研究機関の研究室紹介 静岡県富士工業技術研究所 富士工業技術支援センター		紙パ技協誌	製紙科
一般誌等への投稿				
H27.4.15	デジタル印刷物のリサイクル適性評価法の開発		TEST	鈴木悠介 （掲載時：浜松工業技術支援センター）
H27.7.28	ドライトナー印刷物のリサイクル適性評価		紙パルプの技術	深沢博之 鈴木悠介
H27.7.28	原質工程における古紙原料の品質の変動について		紙パルプの技術	堤 真一
H27.7.28	機密書類溶解システムで得られた古紙原料のきょう雑物の特徴について		紙パルプの技術	堤 真一
H28.1.27	セルロースナノファイバーに関する富士工業技術支援センターの取り組み		紙パルプの技術	神谷真好
展示会への出展				
H27.7.15-17	見守りシステムの開発	国際モダンホスピタル ショー2015		中山 洋 岡田慶雄 白井 圭
H27.10.24-25	研究成果紹介 ・地域包括ケアシステムを支える見守りシステムの開発 ・高度コーティング膜への特性付与技術の開発 ・デジタル印刷物のリサイクル適性評価法の開発	ふじさん紙フェア		神谷真好 三浦 清 齊藤和明 杉本芳邦 木野浩成 深沢博之 山口智久
H28.2.17	見守りシステムの開発	第44回国際ホテル・レストラン・ショー		中山 洋 三浦 清 白井 圭 杉本芳邦
合計件数 10 件		学会等発表 1 件・投稿等 6 件・展示会 3 件		



e 浜松工業技術支援センターの実績（ はポスター発表）

年月日	項 目	発 表 会 名	発表刊行物	発表者名
学会等への発表				
H27.5.31	超短パルスレーザーピーンフォーミングにおけるパルス幅の影響（レーザー出力に対する挙動の変化）	平成27年度塑性加工春季講演会		鷺坂芳弘
H27.6.12	アルミニウム合金冷間鍛造における潤滑性能の評価	第23回アルミニウム鍛造賞受賞講演会		鷺坂芳弘
H27.6.26	チタン合金のエンドミル加工における条件選定手法の提案 - 切削抵抗と工具磨耗の関係 -	(公社)精密工学会切削加工専門委員会第6回例会		是永宗祐
H27.7.4	FT-IRによる加熱劣化させたプラスチック材料の解析	マテリアルライフ学会第26回研究発表会、特別講演会		吉岡正行
H27.7.16	チタン合金のエンドミル加工における条件選定手法の提案 - 切削抵抗と工具磨耗の関係 -	生産加工研究会第54回研究会		是永宗祐
H27.8.17	チタン合金のエンドミル加工における切削条件選定手法の提案 - 切削抵抗と工具磨耗の相関 -	日本トライボロジー学会第3種研究会「エコマシニングとトライボロジー」第35回研究会		是永宗祐
H27.9.6	超短パルスレーザーピーンフォーミングにおける照射痕のオーバーラップの影響	2015年度精密工学会秋季講演会		鷺坂芳弘
H27.10.31	超短パルスレーザーピーンフォーミングにおけるパルスの照射ピッチの影響	第66回塑性加工連合講演会		鷺坂芳弘
H27.11.10	Fabrication of High Strength Ti Alloy Compacts by Metal Injection Molding	The 3rd International Conference on Powder Metallurgy in Asia		伊藤芳典
H28.3.15	超短パルスレーザーピーンフォーミングにおける照射痕のオーバーラップの影響（第2報） - 材質の影響と低発信周波数での変形挙動 -	2016年度精密工学会春季大会		鷺坂芳弘

学会誌及び専門誌への投稿				
H27.5	Micro parts processing using laser cutting and ultra-short-pulse laser peen forming		Journal of Materials Processing Technology	鷺坂芳弘 山下清光 柳原 亘 植田浩安
H27.10	シリーズ「地域繊維産業」静岡県の繊維産業		繊維製品消費科学	鈴木一之
H27.10	マイクロ金型の表面テクスチャリングとそのドライ摩擦・磨耗挙動のその場観察		塑性と加工	鷺坂芳弘
一般誌等への投稿				
H27.12	アルミニウム合金の冷間鍛造における環境対応型潤滑剤の性能評価		アルトピア	鷺坂芳弘
展示会への出展				
H27.7.11-12	ゆかた試作品（縫製ゆかた1点）、コール天試作品2点、パネル2枚	注染・ゆかた・和装展		繊維高分子材料科
H27.7.22-23	熱溶解樹脂積層3次元造形システム	第9回ビジネスマッチングフェア in Hamamatsu 2015		伊藤芳典
	金属組織試験における前処理のポイント			是永宗祐
	レーザー式三次元測定機の誤差要因を調べました			植田浩安
	複雑な形状での蛍光X線によるめっき膜厚測定			田中宏樹
H27.7.17	積層造形装置の紹介	平成27年度中核人材育成事業「トヨタ生産物流セミナー」		伊藤芳典
H27.10.31	ポスター制作協力(布製15枚、紙製3枚)、手織機、製紐機(各1台)	第8回綿の産地フェア		繊維高分子材料科
合計件数 21 件		学会等発表 10 件・投稿等 4 件・展示会 7 件		

平成27年度 試験研究成果一覧表

工業技術研究所		区分	事業名	研究テーマ (細目) 研究内容	終了 継続 新規 廃止 の別	国庫 委託 単独 共同 の別	研究期間	研究目的 背景等	研究成果	研究成果の活用及び 普及等の状況	備考
	新成長戦略研究事業		分散型エネルギー社会に貢献する小型メタン発酵プラントの開発	継続	共同	H26 ～ H28	県内の食品製造企業等が、食品廃棄物をリサイクルするのを支援するため、廃棄物の排出規模に適する安価な小型メタン発酵プラントを開発し、分散型エネルギー社会と物質循環型社会の構築を目指す。	共同研究につき公表を控えます。	共同研究につき公表を控えます。	企業1社 研究開発所 農林技術研究所 畜産技術研究所 水産技術研究所	
	新成長戦略研究事業		“森林の都”を実現する県産材の需要と供給の拡大のための技術開発	継続	共同	H26 ～ H28	本県の人工林資源は、約8割が活用可能な林齢となっている。そこで、木材生産量を50万m3まで増産する目標を掲げ、ニーズに応じた新たな木製品の開発と、原木を効率的に安定供給する技術の開発を行う。	乾燥負圧注入法により、建築基準法の準不燃基準をスギ・ヒノキとも達成、高硬度化塗装技術も和信化学工業が開発した塗料を用い、見た目の自然観と硬度の両立を達成。家具メーカーが採用を始めている。	高硬度化技術は、塗装見本を配布、個別講習の実施により実用化が進んでいる。不燃技術は学会や展示会にてPRを進めている。	農林技術研究所 森林・林業研究センター	
	新成長戦略研究事業		次世代照明用部品の総合開発・評価に関する研究	新規	共同	H27 ～ H29	県内企業の次世代ヘッドランプ用樹脂光学部品市場への参入と、樹脂光学部品産業の集積化を最終目的とし、次世代樹脂光学部品とそれを組み合わせた照明モジュールに要求される設計・製造・評価技術を確立する。	共同研究につき公表を控えます。	共同研究につき公表を控えます。	企業1社	

新成長戦略研究事業	食の都しずおかの微生物を用いた新しい発酵食品ビジネスの創出	新規	共同	H27 ～ H28	静岡県各地域資源を生かすため、県内の自然界から微生物を採取、選抜し、発酵食品を開発する。選抜した微生物については、ライブライビ化及び凍結保存することで、広く活用できるようにする。	共同研究につき公表を控えます。	共同研究につき公表を控えます。	企業1社 研究開発課 農林技術研究所 畜産技術研究所 水産技術研究所 環境衛生科学研究所
新成長戦略研究事業 チャレンジ研究	シンクロナトロンのXAFS測定による非晶質合金めっきの構造解析	新規	単独	H27	クロムめっきは工業用めっきとして優れた皮膜特性を持つが、サージエント浴などの6価クロムを含むめっき液の使用に問題がある。そこで、安価で無害な鉄系合金めっきの開発を目指す。	XAFS測定をめっき評価技術として確立した。XAFS測定は特定元素の化学状態や局所構造が分かるため、これまで暗黙知されていためっき技術の見える化が進むと期待される。めっきでの使用実績を増やし、めっき業界からの次世代めっき開発の要望に応えたい。	本研究の成果は、研究成果発表会等を通して関連業界に情報提供するとともに、共同研究先企業による製品への展開により普及を図る。	
新成長戦略研究事業 緊急対応研究	ドローンの性能評価面に関する開発	新規	単独	H27	無人航空機事業ワーキンググループより、ドローンの安全な運用管理システムやドローン本体および本体への取付けオプション装置の開発支援要望があった。これに応えるため、ドローンの各種評価面に関して検討する。	空撮用や玩具用のドローンを購入して性能や課題を調査し、航空法改正による制限下でも可能な評価や安全な飛行方法について検討した。また、協力企業による橋梁点検用ドローンの開発に関する助成金獲得を支援した。	要望元である無人航空機事業ワーキンググループや県内企業による新たなドローン等の開発で活用が期待できる。	
県単独研究事業	EPDM合成ゴムの特性可視化技術の開発	新規	単独	H27 ～ H28	自動車等に使用されるゴム部品を開発する場合、加工レシビ（材料の配合や加工条件）の作成には、多大な時間と開発費を要する。そこで、計算化学を応用して合成ゴムの加工レシビの作成を支援する技術の開発を行う。	ゴム原料と添加剤から試作したEPDM合成ゴムの物性の可視化を行うためのツールを開発した。	県内ゴム部品製造メーカーと協力して、作成した合成ゴムの特性分類マップをベースに加工レシビの作成を支援するシステムへの展開を行う。	

<p>単独研究事業</p> <p>業</p> <p>科研費 挑戦的萌芽研究(学振)</p>	<p>筋負担の簡易測定法の提案 - 製品開発現場での利用に向けて-</p>	<p>新規</p>	<p>単独</p>	<p>H27 ~ H28</p>	<p>介護教育現場での介護動作の実技指導は、予キストや模範動作ビデオの視聴をベースに、教員の知識や経験を基に行われているため、筋負担や姿勢の映像を同時表示しながら指導できる支援システムを開発する。</p>	<p>筋電センサに求められる機能については、一定の筋負担を超えるアラームで通報するなどの要求項目が現場調査で明確になった。それに基づき、筋電センサの二次試作を行った。</p>	<p>システムのコンセプト設計と小型筋電センサの試作ができ、一定の評価が得られた。今後は、既存の筋電センサと同等の精度が得られるかどうかを検証する。</p>	
<p>単独研究事業</p> <p>業</p> <p>科研費 挑戦的萌芽研究(学振)</p>	<p>冷涼感を有する県産の香り探索と新規アロマ製品の開発</p>	<p>継続</p>	<p>共同</p>	<p>H26 ~ H27</p>	<p>冷涼感作用を有する、柑橘をはじめとする県産の香り成分を見出し、素材化する。また、これを基に、県内の化成品メーカーと共同で新たなアロマ製品を開発・提案し、市場開拓を図る。</p>	<p>共同研究につき公表を控えます。</p>	<p>共同研究につき公表を控えます。</p>	
<p>単独研究事業</p> <p>業</p> <p>科研費 若手研究(B)(学振)</p>	<p>バイオマス由来活性炭を用いた電気二重層キャパシタの量産化</p>	<p>継続</p>	<p>単独</p>	<p>H26 ~ H27</p>	<p>県内で大量に廃棄されているコヒーカスを原料とした活性炭開発を行い、電気二重層キャパシタ(EDLC)へ応用する。これらを実機スケールで行い、量産化体制を築く。</p>	<p>共同研究につき公表を控えます。</p>	<p>共同研究につき公表を控えます。</p>	<p>企業1社</p>
<p>一般共同研究事業</p>	<p>電気化学手法によるFe-Mo合金めっき電解条件の最適化</p>	<p>継続</p>	<p>共同</p>	<p>H26 ~ H27</p>	<p>金属価格高騰や世界的な環境規制が進む中、めっき業界は新しい表面処理技術の開発を求めている。そこで、安価で無害な鉄を利用した環境に優しい耐摩耗性めっきの実用化を目指して鉄合金めっきの研究に取り組んだ。</p>	<p>共同研究につき公表を控えます。</p>	<p>共同研究につき公表を控えます。</p>	<p>企業1社</p>
<p>一般共同研究事業</p>	<p>レーザー皮膜によるダイカスト金型の長寿命化技術の開発</p>	<p>継続</p>	<p>共同</p>	<p>H26 ~ H27</p>	<p>ダイカスト金型の焼付きは、金型の表面温度を低くすれば抑制できるが、成形時間の短縮化が進み多くのダイカストメーカーの課題となっている。そこで、金型表面の温度制御が可能な皮膜処理法の開発を行う。</p>	<p>共同研究につき公表を控えます。</p>	<p>共同研究につき公表を控えます。</p>	<p>企業1社</p>
<p>一般共同研究事業</p>	<p>赤外線分析技術を応用した樹脂製品の検査工程の高度化</p>	<p>新規</p>	<p>共同</p>	<p>H27 ~ H28</p>	<p>樹脂内部の検査は難しく、製造現場では、検査コストの負担や歩留まり低下が問題となっている。そこで、検査対象の物性に合わせた赤外線波長を選択することにより、安価で導入しやすい赤外線検査技術を開発する。</p>	<p>共同研究につき公表を控えます。</p>	<p>共同研究につき公表を控えます。</p>	<p>企業1社 岡大学</p>

一般共同研究 事業	新素材・新構造を 使った体圧分散型 マットレスの製品 化	継続	共同	H26 ～ H27	オーダーメイドマットレス事業 では、多種多様な体型に対応でき る設計手法の確立が必須である。 本研究では、体型に応じて設計変 更可能なマットレス構造と、接触 部ごとに異なる素材を配置する設 計手法を確立する。	共同研究につき公表を控えます。	共同研究につき公表を控えます。	企業1社 (国研)理化学 研究所
一般共同研究 事業	無線・自立型セン サモジュールの開 発 - 風力発電機監 視システムへの応 用 -	継続	単独	H26 ～ H28	データ収集の為に狭い空間へ自 由に設置でき、設置後のメンテナ ンスが不要なセンサモジュールを 開発する。小型軽量化や無線化に より設置自由度向上を図り、環境 発電等の活用で独自電源を有した 自立動作を実現する。	共同研究につき公表を控えます。	共同研究につき公表を控えます。	企業1社
一般共同研究 事業 地域課題に係る 産学共同研究委 託事業（静岡市 産学交流センタ ー）	心地良い音環境の 計測手法の開発	継続	共同	H26 ～ H27	環境基準改正や建築技術向上等 により室内の音環境が大きく変化 し、響きや吸音の面での更なる改 善が求められている。そこで、室 内音響物理量解析や室内音シミュ レーションによって快適な音環境 を追求する。	共同研究につき公表を控えます。	共同研究につき公表を控えます。	
一般共同研究 事業	吸音性能を有する 自動車内装材の開 発	継続	共同	H26 ～ H27	自動車の車室内の音環境を向上 させるために、従来よりも軽くて 高性能な吸音材が必要となつて いる。そこで、ナノメートル単位 の極細繊維を応用した厚みのある 吸音材を開発することを目的と した。	共同研究につき公表を控えます。	共同研究につき公表を控えます。	企業1社
一般共同研究 事業	静岡発 世界を結 ぶ新世代茶飲料と 素材の開発(地域 結果事業 フェー ズ)	継続	共同	H20 ～ H28	茶の価値を向上させ、県内食品 産業や関連産業の振興を図ると もに、世界標準の飲料や素材の全 世界への提供や科学的な効果の解 明を通じ、産業や科学技術の振興 に貢献する。	共同研究につき公表を控えます。	共同研究につき公表を控えます。	企業2社

一般共同研究 事業	茶末利用資源を活用したブレミアムオイルの開発	継続	共同	H26 ～ H27	茶の収益性が下がり、放棄される茶園が増加している。放棄茶園では茶の実が取れ、その油はブレミアムオイルとして高額で取引されることから6次産業化を目指した茶の実油の試作と利用商品の開発を目的とする。	共同研究につき公表を控えます。	共同研究につき公表を控えます。	団体/組織
一般共同研究 事業	トイレ内の転倒検出装置の開発	新規	共同	H27 ～ H27	高齢者の転倒事故が増加している。転倒してしまった場合は早期の発見と治療が重要である。そこで、発見が遅れることが心配されるトイレ内での転倒を自動検出する装置を開発する。	共同研究につき公表を控えます。	共同研究につき公表を控えます。	企業1社
一般共同研究 事業	インジケータ機能を有する消臭製品の開発	新規	共同	H27 ～ H27	猫砂の課題点は消費能力と交換時期の不明瞭さである。そこで、この課題を解決するため、我々が所有する特許「消臭インジケータ色素」を活用し、高い消費能力と取替え時がわかる猫砂の開発を目指す。	共同研究につき公表を控えます。	共同研究につき公表を控えます。	企業1社
一般共同研究 (競争的資金 による研究)	新規な微生物固定化接触材を利用したメタン発酵装置の開発	継続	共同	H26 ～ H27	廃棄物削減とエネルギー回収を両立するシステムとしてのビジネス展開を目指し、共同研究機関のコア技術を活用することで、有機性廃棄物からメタンガスを生成する新規な小型メタン発酵装置の開発を行う。	共同研究につき公表を控えます。	共同研究につき公表を控えます。	企業1社
受託研究(競争的資金による研究)	低コスト小規模バイオマス発電システム用ガス化炉の開発	新規	受託	H27 ～ H28	国内における再生エネルギー固定価格買取制度の導入を受け、農業由来バイオマスの高度利用を目的として、低コスト小規模発電システム用のガス化炉(ベンチスケール機)を試作開発する。	受託研究につき公表を控えます。	受託研究につき公表を控えます。	企業1社

受託研究（競争的資金以外の研究）	自動車用耐熱性ゴム部品の開発	新規	受託	H27	自動車エンジンに使用する耐熱性を有するゴム部品の開発のため、試作品の分析及び評価研究を目的とする	受託研究につき公表を控えます。	受託研究につき公表を控えます。	企業1社
受託研究（競争的資金以外の研究）	低消費電力型加温制御システムにおけるヒータに関する研究開発	新規	受託	H27	(公財)静岡県産業振興財団のしずおか農工商連携事業「いちごク라운加温技術開発」において、電力消費を抑えることのできる効果的なヒータの制御方法を開発する。	受託研究につき公表を控えます。	受託研究につき公表を控えます。	企業1社
受託研究（競争的資金以外の研究）	だしパックの賞味期限設定のための品質変化の推測	新規	受託	H27	加速試験により「だしパック」の賞味期限を設定するために、品質変化の推測を目的とした分析を行う。	受託研究につき公表を控えます。	受託研究につき公表を控えます。	企業1社
受託研究（競争的資金以外の研究）	ひわ茶の成分分析および抽出条件の検討	新規	受託	H27	本研究で用いるひわ茶は緑茶の製造ラインを用いて製造されており、通常のひわ茶とは風味や含有成分が異なる可能性がある。本研究では当該ひわ茶に含まれる基本的な成分を明らかにするとともに、抽出条件検討を行う。	受託研究につき公表を控えます。	受託研究につき公表を控えます。	企業1社
受託研究（競争的資金以外の研究）	静岡産茶の実油の原料、製造条件の違いによる品質の調査	新規	受託	H27	静岡産茶の実油について、全国展開の商品化を目指しており、ロットごととの差異がないか、その原料、製造条件の違いによる品質を調査することを目的とする。	受託研究につき公表を控えます。	受託研究につき公表を控えます。	企業1社
受託研究（競争的資金以外の研究）	茶生葉を活用したペースト型緑茶の開発と貯蔵時の品質評価	新規	受託	H27	茶生葉の香り（萜周香）を活かしたペースト状の緑茶の製法を開発する。また、貯蔵時の品質の変化等を検討し、最適な原材料等について検討する。	受託研究につき公表を控えます。	受託研究につき公表を控えます。	企業1社
受託研究（競争的資金以外の研究）	白葉茶抽出条件及び経時保管条件の検討	新規	受託	H27	近年、これまでのRTD飲料にはなかった高価格帯の高級緑茶飲料が市場で注目を浴びている。本研究では白葉茶を原料とした高級茶飲料の抽出条件検討を行い、また飲料を試作してその保管・流通温度条件を検討する。	受託研究につき公表を控えます。	受託研究につき公表を控えます。	企業1社



受託研究（競争的資金以外の研究）	緑茶の機能性を強化する新たな飲料の開発	新規	受託	H27	静岡市の特産品である緑茶と生姜について、相乗効果によって脂肪蓄積抑制効果を高め、さらに、松葉を加えることで、更なる機能性とストーリー性を持たせた新たな茶飲料を開発する。	受託研究につき公表を控えます。	企業1社
受託研究（競争的資金以外の研究）	藻類抑制剤からの鉄イオン溶出特性及び鉄イオンの分析技術に関する研究	新規	受託	H27	アオコ除去装置の性能向上や性能評価の迅速化を目的として、藻類抑制剤からの鉄イオンの溶出特性を解析するとともに、鉄イオンの定量に関する分析技術を検証する。	受託研究につき公表を控えます。	企業1社
受託研究（競争的資金以外の研究）	過熱水蒸気炭化炉により作製したバイオマス由来活性炭の性能評価	新規	受託	H27	炭化効率の高い過熱水蒸気炭化炉を用いて、様々なバイオマス資源から作製した活性炭について、細孔構造を評価し、応用製品例について提案する。	受託研究につき公表を控えます。	企業1社

(注) 1 本表は試験研究機関において調製する。新規、廃止の順に記載すること。「継続」・「新規」の判別は監査年度を基準とし、  
2 「終了」・「廃止」は事業ごとにその成果を公表する。調書調製日現在の成果又は記載される成果及びその活用等  
3 を「継続」及び「新規」の研究「研究」は、その成果を公表する。調書調製日現在の成果又は記載される成果及びその活用等  
4 「研究」・「研究」は、その成果を公表する。調書調製日現在の成果又は記載される成果及びその活用等  
5 国庫補助事業及び国の委託事業を「単独」とし、民間等の委託による研究を「受託」とする。後者の場合は、備考欄に共同研  
6 究相手名を記載する。

沼津工業技術支援センター

区分 事業名	研究テーマ (細目) 研究内容	終了 継続 新規 廃止 の別	国庫 受託 単独 共同 の別	研究 期間	研究目的 背景等	研究成果	研究成果の活用及び 普及等の状況	備 考
新成長戦略研究 事業	ファルマバレー プロジェクトを 推進する医療・ 介護用機器の開 発 - 手術支援ロボ ットの要素技術 の研究開発 -	継続	共同	H25～ H27	県民の健康増進と医療・健康 産業の集積を図るファルマバレ ープロジェクトを推進するた め、医療現場のニーズを踏ま え、手術室・病室のロボット化 に活用できる要素技術を開発す る。	無騒音・無振動で柔らかい出 力が可能なアクチュエータと3 軸力センサによる力センシング 技術を統合させて、褥瘡や医療 関連機器圧迫創傷の予防への活 用が期待できる力分散技術を開 発した。	研究成果について、地域企業等と の情報交換を更に進め、研究体制を 構築した地域企業を中心に技術移転 を図る。	(国研)産業技 術総合研究所 富士工業技術 支援センター
新成長戦略研究 事業	食の都しずおか の微生物を用い た新しい発酵食 品ビジネスの創 出	新規	共同	H27～ H29	微生物産業の持続的発展のた め、本県の地域資源から得た有 用微生物によりライブラリーを 構築するとともに、新規発酵食 品を開発する。当センターは本 研究の総括や新規酵母を用いた 日本酒・ビール開発を行う。	共同研究につき公表を控えま す。	共同研究につき公表を控えま す。	企業1社 研 究開発課 農村支研究 所 畜産支研究 所 水産支研究 所、環境生 科学研究所
新成長戦略研究 事業 チャレンジ研究	土壌環境の評価 に利用できる生 菌群集解析手法 の開発	新規	単独	H27	現行の微生物群集解析手法 は、生菌と死菌の区別はなく、 微生物由来のDNAが存在すれば検 出される。生菌のみを検出する 手法はないので生菌群集解析手 法を開発する。	地下部の微生物叢が比較的安 定した水耕栽培（有機物を含む 培養液使用）において、生菌由 来の遺伝子を選択的に解析する 条件を見出し、生菌群集解析の 有用性を示した。	土壌の微生物群集解析に応用可能 な技術として県内企業に技術移転す ることで、先駆けな微生物利用技術 を持つ企業の育成に資する。	
一般共同研究事 業	感染症の超高感 度簡易迅速診断 システムの実用 化技術開発 - サイクリング反 応に適する精製 酵素開発	継続	単独	H26 ～ H27	抗原抗体反応に酵素反応を組 合わせることで、超高感度な感 染症の診断システムを構築して きたが、実用化には更なる高感 度化や最適化が必要である。遺 伝子工学手法による酵素開発等 の技術開発を行う。	自然界から探索して見出した 必要な酵素活性を有する候補株 から新規酵素遺伝子由来の純度 が高い酵素を精製することに成 功した。しかし、酵素活性は改 善の余地があった。	共同研究企業にシーズとして技 術移転し、企業が核となり超高感度 な感染症迅速診断システムの実用化 を目指す。	企業1社

一般共同研究事業	遺伝子分離技術に基づく微生物群集解析による乳酸菌発酵食品の品質改良	継続	共同	H26 ～ H27	野菜等を原材料とする乳酸菌発酵食品中の乳酸菌群集を高度に解析する手法を用いて、乳酸菌発酵食品において重要な役割を果たす乳酸菌を特定し、風味に優れた商品開発を行う。	共同研究につき公表を控えません。	共同研究につき公表を控えません。	企業1社
受託研究(競争的資金による研究)	リン酸塩処理槽における槽内加熱ヒータへのスケール付着抑制に関する研究	新規	受託	H27	鉄鋼製品の防錆・塗装下地処理を行うリン酸塩処理において、処理槽を加熱するヒータにスケールが付着し、熱効率低下や重労働な除去作業が課題となっている。そのため、スケール付着を抑制するヒータの開発を行う。	受託研究につき公表を控えません。	受託研究につき公表を控えません。	企業1社
受託研究(競争的資金以外の研究)	発酵製品の製造条件による機能性関与成分変化の調査	新規	受託	H27	発酵製品原料に機能性成分が含まれる可能性がある。そこで、当該原料の製造における発酵条件の違いにより、機能性に関与していると思われる成分がどのように変化するか調査することを目的とする。	受託研究につき公表を控えません。	受託研究につき公表を控えません。	企業1社

(注)1 本表は試験研究機関において調製する。  
2 研究テーマは事業ごとにとまどめ、継続、新規、廃止の順に記載すること。「継続」・「新規」の判別は監査年度を基準とし、「終了」・「廃止」は、その前年度において終了、廃止したものとする。  
3 継続及び新規の研究の成果、成果の活用、普及等の状況については、調書調製日現在での成果又は記載される成果及びその活用等を「研究成果」欄、「研究成果の活用及び普及」欄にそれぞれ記載する。  
4 廃止の研究テーマは、その理由を「研究成果」欄に記載する。  
5 国庫補助事業及び国の委託事業を「国庫」とし、民間等の委託による研究を「受託」とする。  
6 試験研究機関が単独で行う研究を「単独」、他の研究機関等と共同で行う研究を「共同」とする。後者の場合は、備考欄に共同研究相手名を記載する。

富士工業技術支援センター

区分	研究テーマ (細目)	研究内容	終了 継続 新規 廃止 の別	国庫 受託 単独 共同 の別	研究 期間	研究的 背景等	研究成果	研究成果の活用 及び 普及等の状況	備 考
新成長戦略研究事業	ファルマバレープロジェクトを推進する医療・介護用機器の開発 - 地域包括ケアシステムを支える見守りシステムの開発 -	継続	共同	H25 ~ H27	ベッド上の要介護者の状態を、無拘束かつ意識させることなく、検知できる新たなセンサシートを開発し、それを基に地域包括ケアに適した安価な見守りシステムを開発する。	共同研究につき公表を控えます。	共同研究につき公表を控えます。	企業2社	
新成長戦略研究事業 緊急対応研究	製紙技術を利用したセルロースナノファイバー(CNF)の開発用途に関する調査研究	新規	単独	H27	パルプなどを機械的・化学的に処理して得られるセルロースナノファイバー(CNF)は、新しい素材として注目されている。CNFを応用し製品開発を進めるにあたり、CNFに関する技術情報を収集し整理する。	大学、企業、公的研究機関、学会において、研究、取扱方法、サンプル入手法などCNFに関する様々な情報の収集しまとめた。CNFを応用した紙を試作し、評価を行った。	今後集めた情報を活かして新成長戦略研究を進める。CNFに関する技術情報等を必要とする企業に対しては、技術相談をとおして情報を提供する。		
県単独研究事業	紙に含まれる木材パルプの複合的評価手法の開発	継続	単独	H25 ~ H27	製造現場における長年の経験による勘に頼るのではなく、赤外線分光法、近赤外線分光法を用いて測定し、多変量解析によって、パルプ繊維の種類や劣化度合いなどを迅速かつ簡便に評価できる手法を開発する。	近赤外線分光スペクトル装置を用いて市販の紙を測定し、多変量解析ソフトウェア評価により、パルプ繊維の種類・配合率、つまり機械パルプの有無、針葉樹、広葉樹の繊維組成を短時間で評価できることが判明した。	紙ばね協誌(紙パルプ技術協会)への論文投稿済み。静岡県紙ばね技術フォーラムや(一社)静岡県紙パルプ技術協会を通して成果を普及を普及を行つ。		
県単独研究事業	トイレットペーパーに新聞古紙を利用するための技術開発	新規	単独	H27 ~ H28	新聞古紙は印刷用紙等と比べ古紙流通量が多く価格も安定している。トイレットペーパーの原料に新聞古紙を利用した場合の問題点を検証し、長期保存時の変色、やわらかさの低下などの品質低下を防ぐ手段を提案する。	トイレットペーパー原料に新聞古紙を混ぜた場合、少しほぐれにくくなるが、やわらかさは大きな変化がなく、白色度の低下と変色を生じることが確認された。新聞古紙を5%程度混ぜることが可能であることが示唆された。	静岡県紙ばね技術研究フォーラムや(一社)静岡県紙パルプ技術協会を通して成果を普及する。工場の製造で活用したい企業があれば、個別対応して積極的に製品作りに協力する。		

一般共同研究 事業	高度コーティング 膜への特性付与技 術の開発	新規	共同	H26 ～ H27	新成長戦略研究で高度コーテイ ング技術を開発したが、ダイカス ト向けは一層の高性能化、非粘着 性は使用範囲の拡大が求められて いる。これらに共通する表面活性 化の高速・大容量・低コスト化技 術の開発を目指す。	共同研究につき公表を控えます。	共同研究につき公表を控えます。	企業1社
受託研究(競 争的資金以外 の研究)	一般抄造技術を適 用した蓄電池用セ パレータの開発	新規	受託	H27	抄造技術を用いることで蓄電池 用セパレータの開発を進めた結 果、複数の課題が生じた。研究で は、これらの課題を解決できる方 策について検討した。	受託研究につき公表を控えます。	受託研究につき公表を控えます。	企業1社

(注)1 本表は試験研究機関において調製する。

- 2 研究テーマは事業ごとにまとめ、終了、継続、新規、廃止の順に記載すること。「継続」・「新規」の判別は監査年度を基準とし、「終了」・「廃止」は、その前年度において終了、廃止したものとす。
- 3 継続及び新規の研究の成果、成果の活用、普及等の状況については、調書調製日現在での成果又は記載される成果及びその活用等を「研究成果」欄、「研究成果の活用及び普及」欄にそれぞれ記載する。
- 4 廃止の研究テーマは、その理由を「研究成果」欄に記載する。
- 5 国庫補助事業及び国の委託事業を「国庫」とし、民間等の委託による研究を「受託」とする。
- 6 試験研究機関が単独で行う研究を「単独」、他の研究機関等と共同で行う研究を「共同」とする。後者の場合は、備考欄に共同研究相手名を記載する。

浜松工業技術支援センター

区分	研究テーマ (細目)	研究内容	終了 継続 新規 廃止 の別	国庫 受託 単独 共同 の別	研究 期間	研究目的 背景等	研究成果	研究成果の活用 及び 普及等の状況	備 考
新成長戦略各研究事業	レーザーによる健康医療機器用プラスチックの加工技術の確立		継続	共同	H26 ～ H28	成長が見込まれる医療用プラスチック製品のなかで、『視力矯正用眼鏡レンズの染色』と『透明プラスチックの溶着』などを対象として、新しいレーザー加工技術の開発を行う。	共同研究につき公表を控えます。	共同研究につき公表を控えます。	企業2社
県単独研究事業	透明体内部の屈折率分布可視化に関する研究		新規	単独	H27 ～ H29	新成長戦略研究(24～26年度)にて、大型樹脂レンズの屈折率分布を可視化するために開発した透過光波面計測システムの、実用化と応用について検討する。	開発した大面積波面を測定するシステムの測定精度を、目標精度4nmに対して同程度の5nmまで改善し、定量測定が可能なシステムを構築した。	これまで培った、透明体の欠陥や密度分布を可視化する技術を生かして、透明体の品質検査装置を開発する企業を3社支援した。	
県単独研究事業	材料評価における分析精度の高度化に関する研究		新規	単独	H27 ～ H28	化学成分分析における職員の分析力・解析力を向上させるため、試料調製が分析値に与える影響や分析値の繰り返し精度等を体系的に整理し、分析値の誤差などに關する判断指標を作成することを旨とする。	波長分散型蛍光X線分析装置を用いて同一の分析条件で繰り返し測定を行い、分析値や繰り返し精度等に影響を及ぼす要因について検討した。また、各種材料の標準試料を用いて成分分析結果のデータを蓄積した。	不具合原因調査などの技術相談において迅速かつより真値に近い分析が可能になることで、企業では早急に適切な対策を行うことができる。	
一般共同研究事業	電波識別技術の実用化開発		継続	共同	H25 ～ H27	2.4GHz周波数帯には多くの無線データ通信方式が混在し、汎用測定器を用いて各々を識別するには熟練した技術が必要である。そこで、誰でも簡単に使える小型軽量で高性能な電波識別装置の製品化を目指した。	共同研究につき公表を控えます。	共同研究につき公表を控えます。	企業1社
一般共同研究事業	難加工材の加工技術およびその評価技術に関する研究		継続	共同	H26 ～ H28	高速度カメラと切削動力計を用いた切削加工の可視化、数値化による評価技術および塑性加工の成形シミュレーションを用いて中小企業の加工技術のレベルアップを支援し、難加工材に対する加工技術の高度化を目指す。	共同研究につき公表を控えます。	共同研究につき公表を控えます。	企業1社

一般共同研究 事業	熱可塑性樹脂をマトリックスとした炭素繊維複合材成形条件の確立	新規	共同	HZ7 ～ HZ7	熱可塑性樹脂を母材とした炭素繊維複合材(CFRTP)成形素材の最適な成形条件を確立する。	共同研究につき公表を控えます。	企業1社
一般共同研究 事業	電鍍による医療用部品作製技術の開発	新規	共同	HZ7 ～ HZ8	貴金属めっき液およびめっき技術を応用し、電鍍によりマイクロカテーテル先端の不透過マーカ等の医療用小型部品の作製技術を開発する。	共同研究につき公表を控えます。	企業1社
受託研究(競争的資金による研究) 産学官連携研究 開拓(産学)	異種積層材用多結晶ダイヤモンド製切削工具の開発	新規	共同	HZ7 ～ HZ7	異種積層材用の多結晶ダイヤモンド製切削工具を開発すること。	共同研究につき公表を控えます。	企業1社
受託研究(競争的資金による研究) 産学官連携研究 開拓(財団)	半溶融成形法による高放熱性ヒートシンクの開発	継続	受託	HZ6 ～ HZ8	半溶融成形法は、薄肉・複雑形状鋳物を高品質で製造できるプロセスであり、ヒートシンク製造にこの方法を適用し、良放熱性ヒートシンクの製造技術を研究する。	受託研究につき公表を控えます。	企業1社
受託研究(競争的資金以外の研究)	金属表面上の絶縁処理膜の電気的特性評価	新規	受託	HZ7 ～ HZ7	委託企業は、自社特殊ステンレス素材表面への絶縁膜生成技術の高度化を推進している。絶縁膜の生成条件とその電気的特性等との関連を評価し、新たな絶縁膜生成技術の確立を支援する。	受託研究につき公表を控えます。	企業1社
受託研究(競争的資金以外の研究)	ギアボックス内スライダの開発における耐振動およびスライディング性能の評価	新規	受託	HZ7 ～ HZ7	委託企業が新たに開発を進めている自動車ギアボックス内スライダについて、スライダ内部構造と耐久性・信頼性との関係と比較・評価し、開発を支援する。	受託研究につき公表を控えます。	企業1社

受託研究(競争的資金以外の研究)	Fe系めっき皮膜の生産効率向上の検討	新規	受託	HZ7 ~ HZ7	開発中のめっき皮膜が用いられる製品は今後、生産数の増加が見込まれていることから、本研究では、生産効率を向上させるため、従来と同等の品質で成膜時間の短縮が可能であるか検証する。	受託研究につき公表を控えます。	受託研究につき公表を控えます。	企業1社
受託研究(競争的資金以外の研究)	温泉水を利用した地熱発電システムに関する研究	新規	受託	HZ7 ~ HZ7	バイナリー発電装置を利用した地熱発電システムについて、構造体の腐食や配管のスケール付着といった問題があり、普及が進まない一因となっているため、それら問題点について検証を行う。	受託研究につき公表を控えます。	受託研究につき公表を控えます。	企業1社
受託研究(競争的資金以外の研究)	貴金属めっきにおける析出機構の解析	新規	受託	HZ7 ~ HZ7	通常のめっき条件により電鍍を行うと応力が発生し、製品が歪むことがあるため、電鍍条件の設定を行うための基礎データを取得することを目的にプラチナめっきの評価を行った。	受託研究につき公表を控えます。	受託研究につき公表を控えます。	企業1社
受託研究(競争的資金以外の研究)	次世代3Dコーデロイ製造に関する加工技術の開発	新規	受託	HZ7 ~ HZ7	委託元企業では、次世代コーデロイとして立体的な織り柄の製品開発を行っている。立体的な織り柄で問題となっているパイルの糸抜けを解決することを目的とする。	受託研究につき公表を控えます。	受託研究につき公表を控えます。	企業1社
受託研究(競争的資金以外の研究)	注染糊の防染機構と代替材料に関する研究	新規	受託	HZ7 ~ HZ7	注染に使用する防染糊成分の作用機構を解明することで防染糊に適した代替材料の検索を行う。	受託研究につき公表を控えます。	受託研究につき公表を控えます。	企業1社
受託研究(競争的資金以外の研究)	超高強力ポリエチレン繊維の染色性、表面性を改善させる加工方法	新規	受託	HZ7 ~ HZ7	超高強力ポリエチレン(UHPE)繊維は、強度が強い反面、染色などの後加工性が非常に悪い。UHPE繊維を強度を維持したまま、染色性を改善すること、柔軟で滑らかな表面を得ることを目標とする。	受託研究につき公表を控えます。	受託研究につき公表を控えます。	企業1社

(注)1 本表は試験研究機関において調製する。

2 研究テーマは事業ごとにまとめ、終了、継続、新規、廃止の順に記載すること。「継続」・「新規」の判別は監査年度を基準とし、「終了」・「廃止」は、その前年度において終了、廃止したものとする。

3 継続及び新規の研究の成果、成果の活用、普及等の状況については、調書調製日現在での成果又は記載される成果及びその活用等を「研究成果」欄、「研究成果の活用及び普及」欄にそれぞれ記載する。



- 4 廃止の研究テーマは、その理由を「研究成果」欄に記載する。
- 5 国庫補助事業及び国の委託事業を「国庫」とし、民間等の委託による研究を「受託」とする。
- 6 試験研究機関が単独で行う研究を「単独」、他の研究機関等と共同で行う研究を「共同」とする。後者の場合は、備考欄に共同研究相手名を記載する。

**静岡県工業技術研究所**

〒421-1298 静岡市葵区牧ヶ谷2078

TEL 054-278-3028 FAX 054-278-3066

**静岡県工業技術研究所**

**沼津工業技術支援センター**

〒410-0022 沼津市大岡3981-1

TEL 055-925-1100 FAX 055-925-1108

**静岡県工業技術研究所**

**富士工業技術支援センター**

〒417-8550 富士市大淵2590-1

TEL 0545-35-5190 FAX 0545-35-5195

**静岡県工業技術研究所**

**浜松工業技術支援センター**

〒431-2103 浜松市北区新都田1-3-3

TEL 053-428-4151 FAX 053-428-4160

平成27年度 年報  
静岡県工業技術研究所

平成28年12月発行 (2016)

編集・発行

静岡県工業技術研究所

企画調整部

〒421-1298 静岡市葵区牧ヶ谷2078

TEL 054-278-3028

FAX 054-278-3066